

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	4年 点検	8年 点検			14年 点検
No.2.3.5.6 汚水ポンプ電動機	全体	外面塗装	目視・補修	○			●	●	●	発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する 異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う	
		振動・騒音	聴診・触診・計測	○						定格電流以下(定格電流:55A) 1年毎に計測を行う	
		電流値	目視・計測	○						定格電圧±5%以内(定格電圧:6600V) 1年毎に計測を行う	
		電圧値	目視・計測	○						固定子巻線:7MΩ以上、回転子巻線:1MΩ以上 半年毎に計測を行う(著しい低下が無いこと)	
		絶縁抵抗	計測	○						異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う	
		温度	触診・計測	○						6回目の補給で入替えを行う	
		グリース潤滑軸受	目視・補給・交換			○	●	●	●		
		軸受	交換				●	●	●		
		各部ボルト	締め直し			○					
		端子箱	目視			○	●	●	●	緩みがないこと 緩みがあれば増締めを行う 端子等損傷がある場合は交換	
固定子巻線・コア	交換				●	●	●				
回転子巻線・コア	交換				●	●	●				
リード線	交換				●	●	●				
カーボンブラシ	目視・交換・清掃			○	●	●	●	●	磨耗等ある場合は交換		
ブラシホルダー・ロード	目視・交換・清掃			○	●	●	●	●	錆・傷・磨耗等ある場合は交換		
スリップリング	目視・交換・清掃			○	●	●	●	●	錆・傷・磨耗等ある場合は交換		
フォークブレード	交換				●	●	●				
短絡用電動機	交換				●	●	●				

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	4年 定期		
No.2.3.5.6 汚水ポンプ始動制御器 (始動制御器)	全体	外面塗装	目視・補修			○	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
	接触子	磨耗・損傷	目視		○				錆・傷・磨耗等ある場合は交換
	モートル・ブレーキ	騒音	聴診・触診		○				異常のないこと(通常時と比較)
		グリース	目視・交換			○	●		2~3年に1回または5000回起動毎:交換
	電流制限器	整定電流確認	目視		○				始動時間の不安定、始動渋滞の場合は調整
	補助カム	磨耗	目視			○			必要に応じて交換
	回路	絶縁抵抗	計測			○			5MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	各部ボルト	締め具合	打診			○			緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
	各種リレー類	磨耗・損傷	交換				●		
	No.2.3.5.6 汚水ポンプ始動制御器 (始動抵抗器)	全体	外面塗装	目視			○	●	
抵抗体		クラック、破損	目視		○				傷・磨耗等ある場合は交換
配線		磨耗・損傷	目視		○				傷・磨耗等ある場合は交換
特性		絶縁抵抗	計測			○			1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
		抵抗	計測			○			鉛板記載抵抗値±15%
各部ボルト		締め具合	打診			○			緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
各種リレー類		磨耗・損傷	交換				●		

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	5年整備		
							10年整備		
No.1~6 汚水ポンプ逆止弁	全体	外面塗装	目視・補修			○	●	●	発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は剥離とし後に塗装する
		開閉状態	目視			○			正常に作動すること
	フランジ部	漏水	目視			○	●	●	漏水のないこと 漏水があれば増締又は、ガスケットの交換
	ダッシュポット	潤滑油	目視・補給・交換			○	●	●	3年毎に油入替えを行う
	各部ボルト	締め具合	打診			○			緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う

※ は水抜き作業を示す。
※ 表中の ● は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	点検頻度		
No.1~6 汚水ポンプ吐出弁	全体	外面塗装	目視・補修			○	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
		開閉状態	目視			○	●		正常に作動すること
		振動・騒音	聴診・触診		○		○		異常のないこと(通常時と比較)
		フランジ部	漏水	目視		○	●		漏水のないこと 漏水があれば増締又は、ガスケットの交換
	グラウンド部	漏水	目視		○	●		漏水のないこと 漏水があればガスケット、Oリングの交換	
	弁箱・軸受部	漏水	目視			○		漏水のないこと 漏水があれば増締を行う	
	弁座	漏水	目視				●	磨耗のないこと	
	弁棒(スピンドル)	変形・磨耗	目視			○	●	曲がりのないこと	
	弁棒ナジ部	グリース	目視・補給		○		●	6ヶ月又は操作回数500回毎に補給	
	各部ボルト	締めり具合	打診		○			緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	
		本体	分解整備				●	ベアリング交換等	
	電動機	絶縁抵抗	計測			○			1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
		電流値	計測			○			定格電流以下(定格電流:13.0A)
		電圧値	計測			○			定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)
手動ハンドル	手動操作	動作		○			軽快に操作できること		
開度指示計	開度指示計	目視		○			指示値に誤差がないこと		
減速機	潤滑油	目視・補給・交換			○	●	5年に1回または1万回運転・交換		
電動→手動切換機構	動作確認	動作			○		手動ハンドルが共回りしないこと		

※表中の●は参考記載。

※ □ は水抜き作業を示す。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	5	10			
							年	年			年
No.1~6 汚水ポンプ吐出口	トルクリミット、インターロックスイッチ	作動確認	動作	○							正常に作動すること 異常がある場合は交換
	各種計器類	劣化・損傷	交換				●	●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●	●			

※ は水抜き作業を示す。 は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5	10		
							年	年		
汚水管運通弁	全体	外面塗装	目視・補修			○	●	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
		開閉状態	目視			○				正常に作動すること
	フランジ部	漏水	目視		○		●	●		漏水のないこと 漏水があれば増締又は、ガスケットの交換
		漏水	目視		○		●	●		漏水のないこと 漏水があればガスケット、リングの交換
	弁箱・軸受部	漏水	目視			○				漏水のないこと 漏水があれば増締を行う
		弁座	漏水	目視			○	●	●	磨耗のないこと
	弁棒	弁棒の曲がり	目視				●	●		曲がりのないこと
		グリースの漏れ	目視			○	●	●		油漏れ、にじみのないこと 油漏れがあれば増締め、グリースの補充を行う
	手動ハンドル	手動操作	動作		○					軽快に操作できること
	開度指示計	開度指示計	目視		○					指示値に誤差がないこと
	各部ボルト	締め具合	打診		○					緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う

※ 表中の●は参考記載。

※ □ は水抜き作業を示す。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	5年定期				
							●	○			
No.1.2 汚水流量計保守弁	全体	外面塗装	目視・補修			○	●	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
		開閉状態	目視			○	●	●		正常に作動すること	
	フランジ部	漏水	目視		○		●	●		漏水のないこと 漏水があれば増締め又は、ガスケットの交換	
	グランド部	漏水	目視		○		●	●		漏水のないこと 漏水があればガスケット、オリングの交換	
	弁箱・軸受部	漏水	目視			○	●	●		漏水のないこと 漏水があれば増締めを行う	
	弁座	漏水	目視				●	●		摩耗のないこと	
	弁棒	弁棒の曲がり	目視				●	●		曲がりのないこと	
	減速機	グリースの漏れ	目視			○	●	●		油漏れ、にじみのないこと 油漏れがあれば増締め、グリースの補充を行う	
	手動ハンドル	手動操作	動作			○				軽快に操作できること	
	開度指示計	開度指示計	目視			○				指示値に誤差がないこと	
	各部ボルト	締め具合	打診			○				緩みのないこと 緩みがあれば増締めを行う	

※表中の●は参考記載。

※□は水抜き作業を示す。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	5年整備				10年整備
							●	○			
No.1.2 調圧水槽流入弁	全体	外面塗装	目視・補修			○	●	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
		開閉状態	目視			○				正常に作動すること	
	フランジ部	漏水	目視		○		●	●		漏水のないこと 漏水があれば増締又は、ガスケットの交換	
	グランド部	漏水	目視		○		●	●		漏水のないこと 漏水があればガスケット、Oリングの交換	
	弁箱・軸受部	漏水	目視			○				漏水のないこと 漏水があれば増締を行う	
	弁座	漏水	目視				●	●		磨耗のないこと	
	弁棒	弁棒の曲がり	目視				●	●		曲がりのないこと	
	減速機	グリースの濡れ	目視			○		●		油濡れ、にじみのないこと 油濡れがあれば増締め、グリースの補充を行う	
	手動ハンドル	手動操作	動作		○					軽快に操作できること	
	開度指示計	開度指示計	目視		○					指示値に誤差がないこと	
	各部ボルト	締まり具合	打診		○					緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	

※ 表中の●は参考記載。

※ □ は水抜き作業を示す。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	10年 5年 年次点検		
No.1.2 調圧水槽流出可動堰	外観	塗装・損傷・汚れ	目視・補修			○	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
	各種計器類	劣化・損傷	交換				●		
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●		
	各部ボルト	締めり具合	打診			○			緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う
	動作状況	指示値	目視			○			計器類の指示値を確認する
		騒音・振動等	聴診・触診			○			有害な振動や異常音がないこと
	スピンドル	変形・磨耗	目視			○			変形・磨耗のないこと
		グリース	目視・補給			○	●		6ヶ月毎に補給
		絶縁抵抗	計測			○			10MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	電動機	電流値	計測			○			定格電流以下(定格電流:4.0A)
	電圧値	計測			○			定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)	
保護装置	グリース	交換				●		分解時又は5~10年毎に入れ替え	
作動確認	作動状況	目視			○			異常のないこと(通常時と比較)	
	開閉	開閉			○			※注	
								※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に設置に支障のない限り開閉操作を行う。	

※ □ は水抜き作業を示す。

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	5	10			
							年	年			
汚水ポンプ保守用 クレーン	各部ボルト 銘板 ランウェイ (車輪止め) 走行・横行レール 走行・横行車輪 (踏面, フランジ) メカニカルブレーキ ドラム ワイヤーロープ	緩み・脱落	打診・目視	○							緩みがあれば増締め
		荷重表示	目視		○						表示が視認できなければ補修
		損傷	目視		○						損傷があれば補修
		障害物の有無	目視		○						障害物があれば取り除く
		異常磨耗の有無	目視		○						磨耗が激しければ修理、交換
		動作確認	目視		○						異常があれば分解整備
		異常音・振動	聴診・触診		○						異常があれば分解整備
		分解整備						●	●		5年毎に分解整備
		磨耗	目視		○						磨耗が激しい場合は交換
		相互の接触	目視		○						原因調査し、取り除く
		巻取状態	目視		○						乱巻がないこと 原因調査し、取り除く
		潤滑状態	目視		○						グリースが適度に付着していること 不足している場合は塗布
		ロープ径	計測				○				公称径の7%以上減少で交換
		キンク	目視		○						キンクがある場合は交換
		素線	目視		○						断線がないこと 規定以上断線で交換
形状	目視		○						傷・錆・腐食等が無いこと 激しい場合は交換		
端未止め部	目視				○				緩み・変形が無く、乱巻きでないこと 緩み、乱巻は修正 変形激しい場合は交換		

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等	
				日	月	年	5年整備			10年整備
汚水ポンプ保守用 クレーン	シーブ	回転	目視						円滑に回転すること(給脂する)	
		フランジ	目視		○				異常磨耗が無いこと 磨耗していれば交換	
	フックプロック	回転	目視						円滑に回転すること(給脂する)	
		損傷・変形・磨耗	目視						損傷・変形・磨耗が激しい場合は交換	
		フックの口の開き	計測		○				日常:目視 1ヶ月毎:計測 口の開きが8%以内であること(5%超で交換)	
		運転状況(振動・騒音)	聴診・触診		○		●		5年毎に分解整備	
	各減速機	潤滑油		目視・補給		○			オイル減っていない場合は補給 2年毎交換 グリース:6ヶ月毎補給	
		走行装置	異常音・振動	聴診・触診		○			異常があれば細部点検	
	横行装置	異常音・振動		聴診・触診		○			異常があれば細部点検	
		巻上・巻下装置	異常音・振動	聴診・触診		○			異常があれば細部点検	
各軸受の潤滑	補給		給脂		○			6ヶ月毎にグリース補給		
	作動確認	横行・走行・巻上・巻下	動作		○					
				※注 汚水ポンプ保守用クレーンについては、点検時期の「日」は使用前点検を示す。						

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5	10		
							年	年		
ポンプ井排水ポンプ	ポンプ本体	塗装・損傷・汚れ	目視・補修		○	○	●	●	●	発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する 異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う
		運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測	○						計器類の零点および指示値を確認する
	圧力計	指示値	目視	○					定格電流以下(定格電流:42.5A) 1年毎に計測を行う	
	モータ	電流値	目視・計測	○						定格電圧±5%以内(定格電圧:400V) 1年毎に計測を行う
		電圧値	目視・計測	○						1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	潤滑油	絶縁抵抗	計測		○				1年毎または6000時間毎:点検 2年毎または9000時間毎:交換	
	メカニカルシール	潤滑油	目視・補給・交換			○	●	●	メーカ推奨は2年毎に交換	
	ケーブル	磨耗	交換				●	●		傷等ある場合は交換
		損傷・劣化	目視		○					漏れのないこと
	弁類・配管の漏れ	漏れ確認	目視		○					正常に開閉が行えること
	弁類	手動弁	動作			○				緩みのないこと 緩みがあれば増補を行う
	各部ボルト	締めり具合	打診				○			
	ベアリング	磨耗・損傷	交換				●	●		
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●	●		
	逆洗	運転状況				○				1ヶ月毎に逆洗運転を行う

※ 表中の●は参考記載。

※ □ は水抜き作業を示す。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5年	10年		
							整備	整備		
ポンプ室No.1,2 床排水ポンプ	ポンプ本体	塗装・損傷・汚れ	目視・補修	○			●	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
		運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測	○	○					異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う
	圧力計	指示値	目視	○						計器類の零点および指示値を確認する
	モータ	電流値	目視・計測	○	○					定格電流以下(定格電流:5A) 1年毎に計測を行う
		電圧値	目視・計測	○	○					定格電圧±5%以内(定格電圧:400V) 1年毎に計測を行う
		絶縁抵抗	計測	○						1MΩ以上(暑い低下が無いこと)
	潤滑油	潤滑油	目視・補給・交換		○		●	●		1年毎または6000時間毎:点検 2年毎または9000時間毎:交換
	メカニカルシール	磨耗	交換				●	●		メーカー推奨は2年毎に交換
	チェーン	損傷・劣化	目視		○					汚物・スケール等が付着している場合は除去 錆・傷・磨耗等ある場合は交換
	ケーブル	損傷・劣化	目視		○					傷等ある場合は交換
	弁類・配管の漏れ	漏れ確認	目視		○					漏れのないこと
	弁類	手動弁	動作		○					正常に開閉が行えること
	各部ボルト	締め具合	打診		○					緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う
	ベアリング	磨耗・損傷	交換				●	●		
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●	●		

※ は水抜き作業を示す。 ※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等	
				日	月	年	点検時期			
							5年 稼働			10年 稼働
排水ポンプ室No.1,2 床排水ポンプ	ポンプ本体	塗装・損傷・汚れ	目視・補修	○			●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する 異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う	
		運転状況(振動・騒音)	聴診・軸診・計測	○	○					
	圧力計	指示値	目視	○					計器類の零点および指示値を確認する	
		電流値	目視・計測	○	○				定格電流以下(定格電流:12.1A) 1年毎に計測を行う	
		電圧値	目視・計測	○	○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V) 1年毎に計測を行う	
		絶縁抵抗	計測	○					1MΩ以上(著しい低下が無いこと)	
	潤滑油		潤滑油	目視・補給・交換		○	●		1年毎または6000時間毎:点検 2年毎または9000時間毎:交換	
	メカニカルシール		磨耗	交換			●		メーカー推奨は2年毎に交換	
	手エン		損傷・劣化	目視		○			汚物・スケール等が付着している場合は除去 錆・傷・磨耗等ある場合は交換	
	ケーブル		損傷・劣化	目視		○			傷等ある場合は交換	
	弁類・配管の漏れ		漏れ確認	目視	○				漏れのないこと	
	弁類		手動弁	動作		○			正常に閉閉が行えること	
	各部ボルト		締めり具合	打診		○			緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	
	ベアリング		磨耗・損傷	交換			●			
	パッキン類		劣化・損傷	交換			●			

※表中の●は参考記載。

※ □ は水抜き作業を示す。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	5年定期				10年定期
							●	○			
調圧水槽 バイパス可動堰	外観	塗装・損傷・汚れ	目視・補修			○	●	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
	各種計器類	劣化・損傷	交換				●	●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●	●			
	各部ボルト	締まり具合	打診			○				緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	
	動作状況	指示値	目視			○				計器類の指示値を確認する	
		騒音・振動等	聴診・触診			○				有害な振動や異常音がないこと	
		変形・磨耗	目視			○				変形・磨耗のないこと	
	スピンドル	グリース	目視・補給			○		●		6ヶ月毎に補給	
		絶縁抵抗	計測			○				10MΩ以上(著しい低下が無いこと)	
	電動機	電流値	計測			○				定格電流以下(定格電流:4.0A)	
	電圧値	計測			○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)		
	グリース	交換					●		分解時又は5~10年毎に入れ替え		
保護装置	動作状況	目視			○				異常のないこと(通常時と比較)		
作動確認	開閉	動作			○				※注		
					※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に設置に支障のない限り開閉操作を行う。						

※ 表中の●は参考記載。

※ □ は水抜き作業を示す。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等	
				日	月	年	点検時期			
							5年定期			10年定期
ポンプ井連絡ゲート	外観	塗装・損傷・汚れ	目視・補修	○			●	発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する		
	各種計器類	劣化・損傷	交換			●	●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換			●				
	各部ボルト	締まり具合	打診	○				緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う		
	動作状況	指示値		目視	○				計器類の指示値を確認する	
		騒音・振動等		聴診・触診	○				有害な振動や異常音がないこと	
		変形・磨耗		目視	○				変形・磨耗のないこと	
	スピンドル	グリース		目視・補給	○		●	6ヶ月毎に補給		
	電動機	絶縁抵抗		計測	○				1MΩ以上(蓄い低下が無いこと)	
		電流値		計測	○				定格電流以下(定格電流:26.0A)	
		電圧値		計測	○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)	
		グリース		交換			●	●	分解時又は5~10年毎に入れ替え	
		グリース		交換			●	●	分解時又は5~10年毎に入れ替え	
		作動状況		目視	○				異常のないこと(通常時と比較)	
		開閉		動作	○				※注	
				※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に設置に支障のない限り開閉操作を行う。						

※ は水抜き作業を示す。

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	5年	10年			
							定期	定期			
緊急放流ゲート	外観	塗装・損傷・汚れ	目視・補修	○			●	●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
	各種計器類	劣化・損傷	交換				●	●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●	●			
	各部ボルト	締めり具合	打診	○						緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	
	動作状況	指示値		目視	○						計器類の指示値を確認する
		騒音・振動等		聴診・触診	○						有害な振動や異常音がないこと
	スピンドル	変形・磨耗		目視	○						変形・磨耗のないこと
		グリース		目視・補給	○			●	●		6ヶ月毎に補給
		絶縁抵抗		計測	○						1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	電動機	電流値		計測	○						定格電流以下(定格電流:26.0A)
		電圧値		計測	○						定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)
		グリース		交換				●	●		分解時又は5~10年毎に入れ替え
		グリース		交換				●	●		分解時又は5~10年毎に入れ替え
	保護装置	作動状況		目視	○						異常のないこと(通常時と比較)
	作動確認	開閉		動作	○						※注
				※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に設置に支障のない限り開閉操作を行う。							

※ は水拭き作業を示す。 ※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	5	1			
							年	0			
簡易放流ゲート	外観	塗装・損傷・汚れ	目視・補修			○	●	●	●	発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
	各種計器類	劣化・損傷	交換				●	●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●	●			
	各部ボルト	締めり具合	打診			○				緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	
	動作状況	指示値		目視			○				計器類の指示値を確認する
		騒音・振動等		聴診・触診			○				有害な振動や異常音がないこと
	スピンドル	変形・磨耗		目視			○				変形・磨耗のないこと
		グリース		目視・補給			○	●	●		6ヶ月毎に補給
	電動機	絶縁抵抗		計測			○				1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
		電流値		計測			○				定格電流以下(定格電流:26.0A)
電圧値			計測			○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)	
グリース			交換				●	●		分解時又は5~10年毎に入れ替え	
グリース			交換				●	●		分解時又は5~10年毎に入れ替え	
保護装置		作動状況		目視			○			異常のないこと(通常時と比較)	
作動確認	開閉		動作			○			※注		
										※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に設置に支障のない限り開閉操作を行う。	

※ は水抜き作業を示す。

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	週	月	年	5年整備			
								10年整備			
No.1,2通式エアフィルタ	オイルレベル	フィルタ油量	目視・補給			○				オイルレベルが、下部レベルマーク以上かつ上部レベルマーク以下であることを確認する。下部レベルマーク以下であれば給油する	
	減速機オイル	減速機	目視・補給			○				オイル交換は、1回目5ヶ月、2回目以降4年を目安に行う。	
	Vベルト交換	Vベルト	目視・交換			○				ベルトが張っていること。弛みがあれば交換する。	
	運転状況	駆動部	目視・聴覚・指触		○	○				運転中に異音が無いこと。異音があれば駆動部交換やグリス塗布を行う。	
	清掃	スラッジ除去	清掃			○				油槽内に沈殿したスラッジを除去する。	
	差圧	差圧計	目視・計測			○				差圧が118Pa以下で運転されていること。差圧が118Pa以上の場合は、タイマセット時間を短くする。	
	運転状況	駆動部	目視・聴覚・指触			○				運転中に異音が無いこと。異音があれば駆動部交換やグリス塗布を行う。	
	フィルタ交換	フィルタ	交換				○			巻終り番号が表示されていればフィルタ交換を行う。	

表中の○は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	週	月	年	5年定期			
								10年定期			10年定期
No.1~6送風機	一般外観	目視	目視	○						周囲環境40℃以下で、異常な温度や塵埃が無いこと。 結露、発錆がないこと。	
	運転状況	ブロワ部	目視・聴覚・指触	○				●	●	異常振動、異常音が無いこと。 配管、配線の弛みや外れが無いこと。	
		制御盤	目視・聴覚・指触・計測	○				●	●	異常振動、異常音が無いこと。 配管、配線の弛みや外れが無いこと。 タッチパネルによる運転データの計測を行う。	
		電源	計測				○			主電源AC400V±10%以内、雑電源AC100V±10%以内であること。	
	絶縁抵抗	制御盤	計測				○			電源端子～接地端子間で5MΩ以上あること。 全ての供給電源を遮断し、盤内のアレスタをOFFにして計測する。	
	フィルタ交換	ブロワ部、防音カバー	交換				○			半年～1年に1回フィルタを交換する。	
	空調装置	簡易点検【※1】	目視・聴覚・指触			○					異常振動、異常音が無いこと。 油漏れが無いこと。 【※1】3ヶ月に1回以上の簡易点検が必要。 空調メーカーによる運転データ計測
		定期点検【※2】	目視・聴覚・指触・計測					●			【※2】3年に1回以上の定期点検が必要。

表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	週	月	年	5			10
								年			年
No.1~6送風機逆止弁	全体	外面塗装	目視・補修			○			●	発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は剥落とし後に塗装する	
		開閉状態	目視			○				正常に作動すること	
		振動・騒音	聴診・触診		○					異常のないこと(通常時と比較)	
	油量	オイルダンパ	目視			○			●	油漏れのないことを確認する。 3年毎に油入替えを行う。	
		配管接合部	目視			○			●	エア漏れのないこと。 漏れがあればボルト増締めする。	
	グラブ部	エア漏れ	目視			○			●	エア漏れのないこと。 漏れがあればオリングを交換する。	
		弁箱、軸受の耐圧接合部	目視			○			●	エア漏れのないこと。 漏れがあればボルト増締めする。	
		移動ウエイト	目視			○			●	正常に作動すること。	
	レール	作動状態	目視			○			●	レール上の異物、過度の塵埃の有無を確認する。	

表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	週	月	年	5年整備			
								●			○
No.1~6送風機吐出弁	全体	外面塗装	目視・補修				○	●	●	発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
		開閉状態	目視				○			正常に作動すること	
		振動・騒音	聴診・触診			○				異常のないこと(通常時と比較)	
	フランジ部	エア漏れ	目視				○	●	●	漏れのないこと 漏れがあれば増締又は、ガスケットの交換	
		エア漏れ	目視				○	●	●	漏れのないこと 漏れがあればガスケット、Oリングの交換	
	弁箱・軸受部	エア漏れ	目視				○			漏れのないこと 漏れがあれば増締を行う	
		弁座	目視					●	●	磨耗のないこと	
	弁棒(スピンドル)	変形・磨耗	目視				○	●	●	曲がりのないこと	
		グリース	目視・補給				○	●	●	6ヶ月又は操作回数500回毎に補給	
	各部ボルト	締めり具合	打診				○			緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	
		本体	分解整備						●	ベアリング交換等	
		絶縁抵抗	計測				○			1MΩ以上(著しい低下が無いこと)	
		電流値	計測				○			定格電流以下(定格電流:1.2A)	
電動機	電圧値	計測				○			定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)		

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期						判定	判定基準等		
				日	週	月	年	5	10				
								年	年				
No.1~6送風機吐弁	手動ハンドル	手動操作	動作			○						軽快に操作できること	
	開度指示計	開度指示計	目視			○						指示値に誤差がないこと	
	減速機	潤滑油	目視・補給・交換			○		●	●			5年に1回または1万回運転・交換	
	電動→手動切換機構	動作確認	動作			○						手動ハンドルが共回りしないこと	
	トルクリミット、インターロックスイッチ	動作確認	動作			○						正常に作動すること 異常がある場合は交換	
	各種計器類	劣化・損傷	交換					●	●				
	パッキン類	劣化・損傷	交換						●	●			

表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	週	月	年	5			10
								年			年
No.1~3空気管系列元弁	全体	外面塗装	目視・補修			○		●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
		振動・騒音	聴診・触診		○					異常のないこと(通常時と比較)	
		開閉状態	目視			○				正常に作動すること	
	フランジ部	エア漏れ	目視			○		●		漏れのないこと 漏れがあれば増締め又は、ガスケットの交換	
	グランド部	エア漏れ	目視			○		●		漏れのないこと 漏れがあればガスケット、Oリングの交換	
	弁箱・軸受部	エア漏れ	目視			○				漏れのないこと 漏れがあれば増締めを行う	
	弁座	エア漏れ	目視					●		磨耗のないこと	
	弁棒	弁棒の曲がり	目視					●		曲がりのないこと	
	減速機	グリースの漏れ	目視			○		●		油漏れ、にじみのないこと 油漏れがあれば増締め、グリースの補充を行う	
	手動ハンドル	手動操作	動作			○				軽快に操作できること	
開度指示計	開度指示計	目視			○				指示値に誤差がないこと		
各部ボルト	締めり具合	打診			○				緩みのないこと 緩みがあれば増締めを行う		

表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等		
				日	週	月	年	5年 点検 年度			10年 点検 年度	
												判定
送風機保守用クレーン	各部ボルト	緩み・脱落	打診・目視	○							緩みがあれば増締め	
	銘板	荷重表示	目視				○				表示が視認できなければ補修	
	ランウェイ (車輪止め)	損傷	目視				○				損傷があれば補修	
	走行・横行レール	障害物の有無	目視				○				障害物があれば取り除く	
	走行・横行車輪 (踏面, フランジ)	異常磨耗の有無	目視				○				磨耗が激しければ修理、交換	
	メカニカルブレーキ	動作確認	動作確認	目視				○				異常があれば分解整備
		異常音・振動	異常音・振動	聴診・触診				○				異常があれば分解整備
	ドラム	磨耗	磨耗	目視				○				磨耗が激しい場合は交換
		相互の接触	相互の接触	目視				○				原因調査し、取り除く
	ワイヤーロープ	巻取状態	巻取状態	目視				○				乱巻がないこと 原因調査し、取り除く
		潤滑状態	潤滑状態	目視				○				グリースが適度に付着していること 不足している場合は塗布
		ロープ径	ロープ径	計測				○				公称径の7%以上減少で交換
		キンク	キンク	目視				○				キンクがある場合は交換
		素線	素線	目視				○				断線がないこと 規定以上断線で交換
		形状	形状	目視				○				傷・錆・腐食等が無いこと 激しい場合は交換
	端末止め部	端末止め部	目視				○				緩み・変形が無く、乱巻きでないこと 緩み、歪巻は修正 変形激しい場合は交換	

※注 送風機保守用クレーンについては、点検時期の「日」は使用前点検を示す。

表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	週	月	年	5			10
								年			年
送風機保守用クレーン	シーブ	回転	目視	○						円滑に回転すること(給脂する)	
		フランジ	目視		○					異常磨耗が無いこと 磨耗していれば交換	
	フックプロック	回転	目視	○						円滑に回転すること(給脂する)	
		損傷・変形・磨耗	目視	○						損傷・変形・磨耗が激しい場合は交換	
		フックの口の開き	計測	○			○			日常:目視 口の開きが5%以内であること(5%超で交換)	
	各減速機	運転状況(振動・騒音)	聴診・触診	○							
		潤滑油	目視・補給	○			○			減っていないば補給 2年毎交換	
	走行装置	異常音・振動	聴診・触診	○						異常があれば細部点検	
		横行装置	聴診・触診	○						異常があれば細部点検	
	巻上・巻下装置	異常音・振動	聴診・触診	○						異常があれば細部点検	
各軸受の潤滑		給脂					○		グリース補給		
作動確認	横行・走行・巻上・巻下	動作					○				

※注 送風機保守用クレーンについては、点検時期の「日」は使用前点検を示す。

表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	5		
							年		
No.1-1~8 No.2-1~8 分配槽流出可動堰	全体外観	損傷、変形の無い事、 塵・砂の付着の無い事	目視確認			○	●		
	止水板	錆、ゴミ等の異物の付 着、損傷の無い事	目視確認			○	●		
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱落の無い事	目視、スパンナーにて確認			○	●		
	ハンドル操作	振動・異常音の無い事	操作にて確認			○	●	年に4回実施	
	ねじ棒	グリース塗布状態	目視確認			○	●	年に2回実施	
	塗装	錆、塗装の剥離が無い 事	目視確認			○	●		
				※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に運用に支障のない限り開閉操作を行う。					

※表中の●は参考記載。

□ : 水抜き作業を示す。



機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	5 年 整備		
No.1-1~8 No.2-1~8 反応タンク流入可動堰	全体外觀	損傷、変形の無い事、 塵・砂の付着の無い事	目視確認	○			●		
	止水板	錆、ゴミ等の異物の付 着、損傷の無い事	目視確認	○			●		
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱落の無い事	目視、フレキシマーにて確認	○			●		
	電動操作機	開度指示	目視確認	○			●		
		手動・電動切換、各ス イッチの動作	目視確認	○			●		
		手動・電動による操作	目視確認	○			●		
	ねじ棒	グリース塗布状態	目視確認	○			●		年に2回実施
	塗装	錆、塗装の剥離が無い 事	目視確認	○			●		

※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に運用に支障のない限り開閉操作を行う。

※表中の●は、参考記載。

□ : 水抜き作業を示す。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	4年整備		
No.1-1~8 No.2-1~8 反応タンク攪拌機	駆動装置	電流値	目視確認	○					定格値以下であること
		騒音、異音の有無	聴診	○					異音がないこと
		オイルの量、オイル漏れの有無	目視確認	○					オイルゲージ範囲内であること
	防振装置	軸受、モータ等の異常発熱の有無	触診、計測		○				月に4回実施、外気温+40℃以下
		オーバーホール						●	
		オイルの入替え	目視確認			○			20000時間又は4年間の短い方
	駆動装置ベアリングプレート	異常振動の有無 (150μm以下)	触診、計測		○				150μm以下、共振していないこと
		防振ゴムの取替え						○	劣化していないこと
		取付けボルトの緩み	目視、ワットンマーにて確認		○				緩みがないこと
	下部振止ブッシュ	ブッシュの取替え	目視確認、触診、計測					●	軸振れ、異常振動が無いこと
		損傷の無い事	目視確認					○	翼表面に傷が無いこと

※表中の●は、参考記載。

点検において水抜き作業はありません。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	3年定期		
No.1-1~8 散気装置	水面	緩やかな旋回流があること	目視確認	○					
	風量確認	異常発泡がないこと	目視確認	○					
		標準風量範囲内であること	目視確認	○					18.1~30 m ³ /分・池
	ライザー弁	空気の漏洩がないこと	目視確認、触診、聴診	○					
		開閉動作に支障ないこと	動作	○					
	散気板	異常発泡がないこと	目視確認	○			○		水面を確認、2~3年ごと、パネル100mm上まで水位を下げ、発報状況の確認
		アワ圧力が大幅に上昇していないこと	目視確認	○					アワ圧力を定期的に実施していること

※表中の●は参考記載。

□ : 水抜き作業を示す。



機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年			
No.2-1~8 散気装置	水面	緩やかな旋回流があること	目視確認	○					
	風量確認	異常発泡がないこと	目視確認	○					
		標準風量範囲内であること	目視確認	○					18.2~30 m ³ /分・池
	ライザー弁	空気の漏洩がないこと	目視確認、触診、聴診	○					
		開閉動作に支障ないこと	動作			○			
	散気板	異常発泡がないこと	目視確認	○					水面を確認
		ブロー圧力が大幅に上昇していないこと	目視確認	○					ブローアップを定期的に変更していること

※表中の●は参考記載。

点検において水抜き作業はありません。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	10		
							年		
No.1-1~8 No.2-1~8 風量調節弁	<弁本体>								
	全体外觀	損傷、変形、ごみ等の付着の無い事 異常音、異常振動の無い事	目視確認			○	●		年に3回実施
	作動確認	流体の漏れが無い事 電動、手動による作動確認	目視確認 操作にて確認			○	●		
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱着の無い事	目視、フレムマにて確認			○	●		年に2回実施
	塗装	錆、塗装の剥離が無い事	目視確認			○	●		
	<電油操作器>								
	全体外觀	異常音、異常振動、油漏れの無い事				○	●		年に3回実施
	オイルフィルタ	目づまりを起していないこと				○	●		年に3回実施
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱着の無い事				○	●		年に2回実施
	塗装	錆、塗装の剥離が無い事				○	●		
油面計	油面が基準以下になっていないこと				○	●			

※表中の●は参考記載。

点検において水抜き作業はありません。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	5年整備		
	全体外觀	損傷、変形、ごみ等の付着の無い事 異常音、異常振動の無い事	目視確認			○	●	年に3回実施	
		流体の漏れの無い事	目視確認			○	●	年に3回実施	
	作動確認	手動による操作	操作にて確認			○	●		
	ボルト・ナット 塗装	ゆるみ、脱落の無い事 錆、塗装の剥離が無い事	目視、テスターにて確認 目視確認			○	●	年に2回実施	
				※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に運用に支障のない限り開閉操作を行う。					

※表中の●は参考記載。
点検において水抜き作業はありません。

No.1-12
No.2-12
汚水流量計保守弁

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	2年定期		
1.2系反応タンク No.1,2床排水ポンプ	ポンプ本体	塗装・損傷・汚れの無い事 運転状況(振動・騒音の無い事)	目視、補修 聴診、触診、計測				●	発錆、剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する 異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う	
	圧力計	指示値	目視	○				計器類の零点および指示値を確認する	
	モータ	電流値	目視、計測	○				定格電流以下(定格電流: 8.3A) 1年毎に計測を行う	
		電圧値	目視、計測	○				定格電圧±5%以内(定格電圧: 400V) 1年毎に計測を行う	
		絶縁抵抗	計測	○				1MΩ以上(新しい低下が無いこと)	
	潤滑油	潤滑油	目視、補給、交換	○			●	6か月毎: 点検、補給 1年毎または4000時間毎: 点検	
	メカニカルシール	磨耗の無い事	交換				●	メーカー推奨は2年毎に交換	
	チエーン	損傷、劣化の無い事	目視	○				汚物・オイル等が付着している場合は除去 錆、傷、磨耗等ある場合は交換	
	ケーブル	損傷、劣化の無い事	目視	○				傷等ある場合は交換	
	弁類・配管の漏れ	漏れ確認	目視	○				濡れないこと	
	弁類	手動弁	動作	○				正常に開閉が行えること	
	各部ボルト	締めり具合	打診	○				ゆるみのないこと ゆるみがあれば増し締めを行う	
	ベアリング	磨耗、損傷の無い事	交換				●		
	パッキン類	損傷、劣化の無い事	交換				●		

※表中の●は参考記載。

点検において水抜き作業はありません。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	2年整備		
No.1-1~8 No.2-1~8 返送汚泥 計装機器保守弁1	全体外観	損傷、変形、ごみ等の付着の無い事 錆、塗装の剥離が無い事	目視確認 目視確認			○	○		
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱落の無い事	目視、フレッドマーにて確認			○	○	年に2回実施	
	パッキン類	パッキン部・ガスケット部から漏れが無い事	目視確認			○	○	年に4回実施	
	弁棒	グリース塗布状態	目視確認			○	○		
				※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に運用に支障のない限り開閉操作を行う。					

※表中の○は参考記載。

点検において水抜き作業はありません。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期			判定	判定基準等
				日	月	年		
No.1-1~8 No.2-1~8 返送汚泥 計装機器保守弁2	全体外観	損傷、変形、ごみ等の付着の無い事	目視確認		○			
		錆、塗装の剥離が無い事	目視確認		○			
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱落の無い事	目視、フレイトマ-にて確認		○			年に2回実施
	パッキン類	パッキン部・ガスケット部から漏れが無い事	目視確認		○			年に4回実施
	弁棒	グリーン塗布状態	目視確認		○			
				※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に運用に支障のない限り開閉操作を行う。				

※表中の●は、参考記載。
点検において水抜き作業はありません。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	5		
							年		
No.1-1~8-1.2 No.2-1~8-1.2 終沈流入可動堰 (上段)・(下段)	全体外観	損傷、変形の無い事、 塵・砂の付着の無い事	目視確認			○	●		
	止水板	さび、ごみの付着、損傷 の無い事	目視確認			○	●		
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱落の無い事	目視、アストハンマーにて確認			○	●		
	ハンドル操作	振動・異常音の無い事	操作にて確認			○	●	年に4回実施	
	ねじ棒	グリース塗布状態	目視確認			○	●		年に2回実施
	塗装	錆、塗装の剥離が無い 事	目視確認			○	●		
				※注 開閉頻度の少ない場合は、3ヶ月毎に設置に支障のない限り開閉操作を行う。					

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等	
				日	月	年	10年定期			
No.1-1~8 終沈汚泥掻き寄せ機 (上段)・(下段)	外観	錆・汚れ	目視・清掃	○					発錆のないこと。汚れが大きい場合は清掃を行う	
	外観	劣化・損傷	目視	○			●		外観に大きな傷・損傷が無いが確認	
	各部ボルト	締め具合	打診		○				緩みのないこと。緩みがあれば増締を行う	
	チェーンとスプロケット	噛み合い	目視	○					チェーンとスプロケットホイールの噛み合いの確認	
	電動機		騒音・振動等	聴診・触診	○					有害な振動や異常音がないこと
			絶縁抵抗	計測		○				1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
			電流値	計測		○				定格電流以下(定格電流:1.06A)
			電圧値	計測		○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)
			オイル	目視		○				オイルゲージ範囲内であるが確認
	減速機	作動状況		聴診・触診	○				異常な振動や異常音がないこと	
	保護装置	破断・蛇行検知器		動作		○			異常のないこと	
	槽内点検						●		磨耗部品の確認・交換、その他異常の有無の確認	

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等	
				日	月	年	10年定期			
No.2-1~8 終洗汚泥掻寄機 (上段)・(下段)	外観	錆・汚れ	目視・清掃			○			発錆のないこと。汚れが大きい場合は清掃を行う	
	外観	劣化・損傷	目視			○	●		外観に大きな傷・損傷が無いが確認	
	各部ボルト	締まり具合	打診			○			緩みのないこと。緩みがあれば増締を行う	
	チェーンとスプロケット	噛み合い	目視			○			チェーンとスプロケットホイールの噛み合いの確認	
	電動機	騒音・振動等	絶縁抵抗	聴診・触診			○			有害な振動や異常音がないこと
				計測			○			1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
				計測			○			定格電流以下(定格電流:1.06A)
	減速機	電圧値	オイル	計測			○			定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)
				目視			○			オイルゲージ範囲内であるか確認
				聴診・触診			○			異常な振動や異常音がないこと
	保護装置	オーバーラン用リミットスイッチ	動作			○			異常のないこと	
	槽内点検						●		磨耗部品の確認・交換、その他異常の有無の確認	

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	発生頻度		
No.1-1~8 No.2-1~8 終沈スクラムスキマ (上段)・(下段)	外観	錆・汚れ	目視・補修		○				発錆のないこと。汚れが大きい場合は清掃を行う
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●		
	各部ボルト	締まり具合	打診		○				緩みがないこと。緩みがあれば増締を行う
	動作状況	スクラムの呑み込み状況	目視		○				スクラムがスムーズに呑み込んでいるか確認
		騒音・振動等	聴診・触診		○				異常な振動や異常音がないこと
	スクリーナーネジ	グリース	目視・補給		○				6~12ヶ月毎に補給
		絶縁抵抗	計測		○				1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
		電流値	計測		○				定格電流以下(定格電流:0.84A)
		電圧値	計測		○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)
	電動機	グリース	交換					●	分解時又は5~10年毎に入れ替え
作動状況		目視		○				異常のないこと	
保護装置									

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5年定期			
							●	○		
1.2系 終沈池排水ポンプ	ポンプ本体	運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測	○			●		振動:触診で小さいか(MAX80μm) 騒音:通常時と変わりが無いか。	
		回転速度	計測	○			●		通常時と変わりが無いか。(約1090min ⁻¹)	
	軸受箱	温度	触診・計測	○					大気温+40℃(MAX75℃)以下であるか。	
		潤滑油	目視	○			●		ゲージの指示範囲内にあるか。濁り、漏れがないか。6ヶ月毎:交換	
	圧力計	指示値	目視	○					計器類の零点および指示値を確認する	
		電流値	目視・計測	○					定格電流以下(定格電流:7.2A)	
	モータ	電圧値	目視・計測	○					定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)	
		張力・磨耗	目視・触診・計測		○			●	張り具合の確認、また、クランク、剥離はないか。	
	メカニカルシール エンドシール メカニカルシール一式	磨耗	交換		○				メーカー推奨は1年毎に交換	
		磨耗	交換					●		
	ボルト・ナット	締め具合	目視		○				緩み、脱落の無い事	
		汚れ、錆び	目視		○			●	汚れ、錆びはないか	
	塗装の状態	磨耗・損傷	交換					●		
		劣化・損傷	交換					●		
	パッキン類									
※ポンプ内部確認方法・・・ポンプ吸い込み側仕切弁閉操作、ポンプドレン弁開、ポンプマンホールを外す。										

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5 年 定期			
No.1-1~4 No.2-1~4 余剰汚泥ポンプ	ポンプ本体	運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測	○			●			振動・触診で小さいか(MAX80μm) 騒音:通常時と変わりが無いか。
		回転速度		計測	○			●		通常時と変わりが無いか。(約1070min ⁻¹)
		温度		触診・計測	○					大気温+40℃(MAX75℃)以下であるか。
	軸受箱	潤滑油		目視	○			●		ゲージの指示範囲内にあるか。濁り、漏れがないか。6ヶ月毎:交換
		流量計・圧力計		目視	○					計器類の零点および指示値を確認する
		モータ		目視・計測	○					定格電流以下(定格電流:22.2A)
				目視・計測	○					定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)
		Vベルト	張力・磨耗	目視・触診・計測		○		●		張り具合の確認、また、クラック、剥離はないか。
		メカニカルシール エンドシール	磨耗	交換		○				メーカー推奨は1年毎に交換
		メカニカルシール 一式	磨耗	交換				●		
		ボルト・ナット	締まり具合	目視		○				緩み、脱落の無い事
		塗装の状態	汚れ、錆び	目視		○		●		汚れ、錆びはないか
		ベアリング	磨耗・損傷	交換				●		
		パッキン類	劣化・損傷	交換				●		
	※ポンプ内部確認方法・・・ポンプ吸い込み側仕切弁開操作、ポンプドレン弁開、ポンプマンホールを外す。									

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5年定期			
							●	○		
No.1-1~8-1,2 No.2-1~8-1,2 返送汚泥ポンプ	ポンプ本体	運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測	○			●			振動:触診で小さいか(MAX80μm) 騒音:通常時と変わりが無いか。 モーター一回転速度時、通常時と変わりが無いか。
		回転速度	計測	○			●			
	軸受箱	温度	触診・計測	○						大気温+40°C(MAX75°C)以下であるか。
		潤滑油	目視	○			●			ゲージの指示範囲内にあるか。濁り、漏れがないか。6ヶ月毎:交換
	流量計・圧力計	指示値	目視	○						計器類の零点および指示値を確認する
	モータ	電流値	目視・計測	○						定格電流以下(定格電流:28.7A)
		電圧値	目視・計測	○						定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)
	Vベルト	張力・磨耗	目視・触診・計測	○			●			張り具合の確認、また、クラック、剥離はないか。
	メカニカルシール エンドシール	磨耗	交換			○				メーカー推奨は1年毎に交換
	メカニカルシール 一式	磨耗	交換				●			
	ボルト・ナット	締め具合	目視	○						緩み、脱着の無い事
	塗装の状態	汚れ、錆び	目視	○			●			汚れ、錆びはないか
	ベアリング	磨耗・損傷	交換				●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●			
	※ポンプ内部確認方法...ポンプ吸い込み側切弁閉操作、ポンプドレン弁開、ポンプマンホールを外す。									

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5 年 整備			
No.1,2洗浄排水ポンプ	ポンプ本体	運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測	○			●			振動:触診で小さいか(MAX80μm) 騒音:通常時と変わりが無いか。
		回転速度	計測	○			●			通常時と変わりが無いか。(約1340min ⁻¹)
	軸受箱	温度	触診・計測	○						大気温+40℃(MAX75℃)以下であるか。
		潤滑油	目視	○			●			ゲージの指示範囲内にあるか。濁り、漏れがないか。6ヶ月毎:交換
		指示値	目視	○						計器類の零点および指示値を確認する
	モータ	電流値	目視・計測	○						定格電流以下(定格電流:11A)
		電圧値	目視・計測	○						定格電圧±5%以内(定格電圧:400V)
	Vベルト	張力・磨耗	目視・触診・計測		○		●			張り具合の確認、また、クラック、剥離はないか。
	メカニカルシール エンドシール メカニカルシール一式	磨耗	交換		○					メーカー推奨は1年毎に交換
		磨耗	交換				●			
	ボルト・ナット	締めり具合	目視		○					緩み、脱落の無い事
	塗装の状態	汚れ、錆び	目視		○		●			汚れ、錆びはないか
	ベアリング	磨耗・損傷	交換				●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●			
	※ポンプ内部確認方法...ポンプ吸い込み側仕切弁開操作、ポンプドレン弁開、ポンプマンホールを外す。									

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等	
				日	月	年	2	3			
							年	年			
①No.1-1~8-1,2 No.2-1~8-1,2 余剰汚泥引抜弁 ②No.1-1~8-1,2 No.2-1~8-1,2 返送汚泥引抜弁 ③1,2系終沈流入水路 曝気管閥次弁	弁全体外観	損傷、変形の無い事	目視確認	○			●	●			
	弁全体外観	開閉動作中、振動・異常音の無い事	聴診・触診	○			●	●			
	弁全体外観	漏水、漏油の無い事	目視確認	○			●	●			
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱落の無い事	目視、テストハンマーにて確認		○		●	●		年に2回実施	
	塗装	錆、塗装の剥離が無い事	目視確認		○		●	●			
	電動操作機	開度指示	目視確認		○		●	●			
	電動操作機	手動・電動切替、各スイッチの動作	動作確認		○		●	●			
	電動操作機	手動・電動による開度動作	動作確認		○		●	●			

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	5 年 務 期		
①No.1-1~8-1,2 No.2-1~8-1,2 終流汚泥引抜元弁	弁全体外観	損傷、変形の無い事	目視確認			○	●		
	弁全体外観	開閉動作中、振動・異常音の無い事	聴診・触診			○	●		
	弁全体外観	漏水、漏油の無い事	目視確認			○	●		
	ボルト・ナット 塗装	ゆるみ、脱落の無い事 錆、塗装の剥離が無い事	目視、テストハンマーにて確認 目視確認			○	●	年に2回実施	
②No.1-1~4 No.2-1~4 返送汚泥 切替弁(引抜側)									
③No.1-1~4 No.2-1~4 返送汚泥 切替弁(吐出側)									
④二次処理水引抜弁									

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	2	1		
							年	0		
二次処理水 緊急遮断弁	弁全体外観	損傷、変形の無い事	目視確認		○		●	●		
	弁全体外観	開閉動作中、振動・異常音の無い事	聴診・触診		○		●	●		
	弁全体外観	漏水、漏油の無い事	目視確認		○		●	●		
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱落の無い事	目視、テストハンマーにて確認			○	●	●	年に2回実施	
	塗装	錆、塗装の剥離が無い事	目視確認			○	●	●		
	圧力	減圧弁付圧力計を確認し、0.4MPaである事	目視確認		○		●	●		

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	2年 点検 周期		
No.1~5-1.2 終流スクラム移送ポンプ	ポンプ本体	塗装・損傷・汚れ	目視・補修				●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は塗落として後に塗装する 異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う
		運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測			○			計器類の零点および指示値を確認する
	圧力計	指示値	目視		○				定格電流以下(定格電流:17A) 1年毎に計測を行う
		電流値	目視・計測		○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V) 1年毎に計測を行う
	モータ	電圧値	目視・計測		○				1MΩ以上(音しい低下が無いこと)
		絶縁抵抗	計測		○				6ヶ月毎:点検・補給 1年毎または4000時間毎:点検
	潤滑油	潤滑油	目視・補給・交換			○	●		メーカ推奨は2年毎に交換
	メカニカルシール	磨耗	交換				●		汚物・スケール等が付着している場合は除去 錆・傷・磨耗等ある場合は交換
	チェーン	損傷・劣化	目視			○			傷等ある場合は交換
	ケーブル	損傷・劣化	目視		○				漏れのないこと
	弁類・配管の漏れ	漏れ確認	目視		○				正常に開閉が行えること
	弁類	手動弁	動作			○			錆みのないこと 緩みがあれば増締を行う
	各部ボルト	締まり具合	打診			○			
	ベアリング	磨耗・損傷	交換				●		
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●		

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	2年 点検 周期		
1,2系終沈 No.1,2床排水ポンプ	ポンプ本体	塗装・損傷・汚れ	目視・補修				●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
		運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測		○				異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う
	圧力計	指示値	目視	目視	○				計器類の零点および指示値を確認する
	モータ	電流値	目視・計測	目視・計測	○				定格電流以下(定格電流:8.3A) 1年毎に計測を行う
		電圧値	目視・計測	目視・計測	○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V) 1年毎に計測を行う
		絶縁抵抗	計測	計測	○				1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	潤滑油	潤滑油	目視・補給・交換	目視・補給・交換	○		●		6ヶ月毎・点検・補給 1年毎または4000時間毎・点検
	メカニカルシール	磨耗	交換	交換			●		メーカ推奨は2年毎に交換
	チャーン	損傷・劣化	目視	目視	○				汚物・スケール等が付着している場合は除去 錆・傷・磨耗等ある場合は交換
	ケーブル	損傷・劣化	目視	目視	○				傷等ある場合は交換
	弁類・配管の漏れ	漏れ確認	目視	目視	○				漏れのないこと
	弁類	手動弁	動作	動作	○				正常に開閉が行えること
	各部ボルト	締めり具合	打診	打診	○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
	ベアリング	磨耗・損傷	交換	交換			●		
	パッキン類	劣化・損傷	交換	交換			●		

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	2年 発着 期		
水処理用水設備 No.1,2床排水ポンプ	ポンプ本体	塗装・損傷・汚れ	目視・補修				●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する 異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う
		運転状況(振動・騒音)	聴診・触診・計測			○			
	圧力計	指示値	目視		○				計器類の零点および指示値を確認する
		電流値	目視・計測		○				定格電流以下(定格電流:12.6A) 1年毎に計測を行う
	モータ	電圧値	目視・計測		○				定格電圧±5%以内(定格電圧:400V) 1年毎に計測を行う
		絶縁抵抗	計測		○				1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	潤滑油	潤滑油	目視・補給・交換		○		●		6ヶ月毎:点検・補給 1年毎または4000時間毎:点検
	メカニカルシール	磨耗	交換				●		メーカー推奨は2年毎に交換
	チェーン	損傷・劣化	目視		○				汚物・スケール等が付着している場合は除去 錆・傷・磨耗等ある場合は交換
	ケーブル	損傷・劣化	目視		○				傷等ある場合は交換
	弁類・配管の漏れ	漏れ確認	目視		○				漏れのないこと
	弁類	手動弁	動作		○				正常に開閉が行えること
	各部ボルト	締まり具合	打診		○				緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う
	ベアリング	磨耗・損傷	交換				●		
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●		

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	1年 点検頻度		
終流スクラム移送 ポンプ保守点検用 吊上機	全体外観	損傷、変形の無い事、 定格荷重がはつきり読 めること	目視確認	○					
		チェーンがねじれていな いか	目視確認	○					
	操作確認	首部(フック)が回転する か	操作にて確認	○					
		巻き上げ時、カチカチと 音がなるか	操作にて確認	○					異常音はないか
		操作を止めたとき、フツ クの滑り落ちはないか	操作にて確認	○					
		無負荷で吊上げ、走行 させ異常はないか	操作にて確認	○					
		レールのスラストバで停止 するか	操作にて確認	○					
	チェーンブロック	分解点検					●		
					※注 上記日常点検は、作業前点検内容を示す。				

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	1		
							年		
水処理用水設備 保守点検用クレーン	全体外観	損傷、変形の無い事、 定格荷重がはつきり読 めること	目視確認	○					
		チェーンがねじれていな いか	目視確認	○					
	操作確認	首部(フック)が回転する か	操作にて確認	○					
		巻き上げ時、カチカチと 音がなるか	操作にて確認	○					異常音はないか
		操作を止めるとき、フッ クの滑り落ちはないか	操作にて確認	○					
		無負荷で吊上げ、走行 させ異常はないか	操作にて確認	○					
		レールのストッパーで停止 するか	操作にて確認	○					
	定期点検	分解点検					●		
	※注 上記日常点検は、作業前点検内容を示す。								

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等	
				日	月	年	3年整備			
							1年整備			3年整備
No.1~No.3冷却停用 二次処理水 移送ポンプ	運転状況	振動・騒音	聴診・触診・計測	○					異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う	
	電流値	指示値	目視	○					定格電流以下(定格電流:58A)	
	圧力計	指示値	目視	○					計器類の零点および指示値を確認する	
	モータ	絶縁抵抗値	計測		○		●		1MΩ以上(著しい低下が無いこと)	
	軸受(ポンプ・モータ)	振動・騒音・発熱	聴診・触診・計測	○	○	○	●		軸受部の発熱・異常音がないこと	
	グラウンドパッキン	漏水・発熱	目視・調整・交換	○	○	○	●		グラウンド部の発熱がないこと 漏水量が多くなる毎に締付調整を行う(整備は交換)	
	カップリングボルト	締めり具合	打診		○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う	
	芯出し	芯ずれ・面ぶれ	計測・調整			○	●		芯ずれ:0.05mm以内 隙間 :0.1mm以内	
	全般	外面塗装	目視・補修		○		●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
	各部ボルト	締めり具合	打診		○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う	
	軸スリーブ	摩耗・損傷	交換				●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●			
	羽根車・ライナイナリーング	損傷・摺動部隙間	目視・計測・補修				●		羽根車及びライナイナリーングは損傷程度により交換	
	内面状況	接水部	目視				●		腐食の状況により清掃・塗装実施	
	※ポンプ内部確認方法・・・ポンプ吸い込み側仕切弁閉操作、ポンプドレン弁開、ルーズ単管を外す。									

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等	
				日	月	年	年数			
							1年			3年
No.1,2沈砂池用 二次処理水 給水ポンプ	運転状況	振動・騒音	聴診・触診・計測	○					異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う	
	電流値	指示値	目視	○					定格電流以下(定格電流:84A)	
	圧力計	指示値	目視	○					計器類の零点および指示値を確認する	
	モータ	絶縁抵抗値	計測		○		●		1MΩ以上(著しい低下が無いこと)	
	軸受(ポンプ・モータ)	振動・騒音・発熱	聴診・触診・計測	○	○		●		軸受部の発熱・異常音がないこと	
	グラウンドパッキン	漏水・発熱	目視・調整・交換	○	○		●		グラウンド部の発熱がないこと 漏水量が多くなる毎に締付調整を行う(整備は交換)	
	カップリングボルト	締めり具合	打診		○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う	
	芯出し	芯ずれ・面ぶれ	計測・調整				●		芯ずれ:0.05mm以内 隙間:0.1mm以内	
	全般	外面塗装	目視・補修		○		●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
	各部ボルト	締めり具合	打診		○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う	
	軸スリーブ	摩耗・損傷	交換				●			
	パッキン類	劣化・損傷	交換				●			
	羽根車・ライナイナールン	損傷・摺動部隙間	目視・計測・補修				●		羽根車及びライナイナールンが損傷程度により交換	
	内面状況	接水部	目視				●		腐食の状況により清掃・塗装実施	
	※ポンプ内部確認方法・・・ポンプ吸い込み側仕切弁閉操作、ポンプドレン弁開、ルーズ単管を外す。									

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等	
				日	月	年	3年定期			
							1年定期			3年定期
①初流スカム集水ポンプ ②終流スカム集水ポンプ ③No.1,2,3過原水ポンプ	運転状況	振動・騒音	聴診・触診・計測	○					異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う	
	電流値	指示値	目視	○					定格電流以下(定格電流:4.2A)	
	圧力計	指示値	目視	○					計器類の零点および指示値を確認する	
	モータ	絶縁抵抗値	計測		○		●		1MΩ以上(著しい低下が無いこと)	
	軸受(ポンプ・モータ)	振動・騒音・発熱	聴診・触診・計測	○			●		軸受部の発熱・異常音がないこと	
	グラウンドパッキング	漏水・発熱	目視・調整・交換	○			●		グラウンド部の発熱がないこと 漏水量が多くなる毎に締付調整を行う(整備は交換)	
	カップリングボルト	締まり具合	打診		○				緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	
	芯出し	芯ずれ・面ぶれ	計測・調整				●		芯ずれ:0.05mm以内 隙間 :0.1mm以内	
	全般	外面塗装	目視・補修		○		●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する	
	各部ボルト	締まり具合	打診		○				緩みのないこと 緩みがあれば増締を行う	
	軸スリーブ	摩擦・損傷	交換				●			
	パッキング類	劣化・損傷	交換				●			
	羽根車・ライナーリング	損傷・摺動部隙間	目視・計測・補修				●		羽根車及びライナーリングは損傷程度により交換	
	内面状況	接水部	目視				●		腐食の状況により清掃・塗装実施	
	※ポンプ内部確認方法・・・ポンプ吸い込み側仕切弁閉操作、ポンプドレン弁開、ルーズ単管を外す。									

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5	10		
							年	年		
水処理用二次処理水 給水ユニット	運転状況	振動・騒音	聴診・触診・計測	○						異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う
	電流値	指示値	目視	○						定格電流以下(定格電流:21A)
	圧力計	指示値	目視	○						計器類の零点および指示値を確認する
	モータ	絶縁抵抗値	計測			○		●		1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	軸受(ポンプ・モータ)	振動・騒音・発熱	聴診・触診・計測	○		○		●		軸受部の発熱・異常音がないこと
	グラウンドパッキング	漏水・発熱	目視・調整・交換	○		○		●		グラウンド部の発熱がないこと 漏水量が多くなる毎に締付調整を行う(整備は交換)
	カップリングボルト	締めまり具合	打診			○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
	芯出し	芯ずれ・面ぶれ	計測・調整					●		芯ずれ:0.05mm以内 隙間 :0.1mm以内
	全段	外面塗装	目視・補修			○		●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
	各部ボルト	締めまり具合	打診			○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
	軸スリーブ	摩耗・損傷	交換					●		
	パッキング類	劣化・損傷	交換					●		
	羽根車・ライナリング	損傷・摺動部隙間	目視・計測・補修					●		羽根車及びライナリングは損傷程度により交換
	内面状況	接水部	目視					●		腐食の状況により清掃・塗装実施
	空気補給機構	電磁弁・逆止弁動作	目視・計測			○		●		電磁弁・逆止弁が正常に動作している事
制御盤	動作確認				○		●		自動運転が正常に実施されている事	
電磁閉閉器	摩耗	目視			○		●		接点が摩耗していない事	

※ポンプ内部確認方法・・・ポンプ吸い込み側仕切弁閉操作、ポンプドレン弁開、ルーズ単管を外す。

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	5年整備			
							5年整備	10年整備		
雑用水給水ユニット	運転状況	振動・騒音	聴診・触診・計測	○						異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う
	電流値	指示値	目視	○						定格電流以下(定格電流:28.5A)
	圧力計	指示値	目視	○						計器類の零点および指示値を確認する
	モータ	絶縁抵抗値	計測			○		●		1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	軸受(ポンプ・モータ)	振動・騒音・発熱	聴診・触診・計測	○				●		軸受部の発熱・異常音がないこと
	グラウンドパッキン	漏水・発熱	目視・調整・交換	○				●		グラウンド部の発熱がないこと 漏水量が多くなる毎に締付調整を行う(整備は交換)
	カップリングボルト	締まり具合	打診			○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
	芯出し	芯ずれ・面ぶれ	計測・調整					●		芯ずれ:0.05mm以内 隙間 :0.1mm以内
	全般	外面塗装	目視・補修			○		●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
	各部ボルト	締まり具合	打診			○				緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
	軸スリーブ	摩耗・損傷	交換					●		
	パッキン類	劣化・損傷	交換					●		
	羽根車・ライナーリング	損傷・摺動部隙間	目視・計測・補修					●		羽根車及びライナーリングは損傷程度により交換
	内面状況	接水部	目視					●		腐食の状況により清掃・塗装実施
	空気補給機構	電磁弁・逆止弁動作	目視・計測	○				●		電磁弁・逆止弁が正常に動作している事
制御盤	動作確認				○		●		自動運転が正常に実施されている事	
電磁閉閉器	摩耗	目視			○		●		接点が摩耗していない事	

※ポンプ内部確認方法・・・ポンプ吸い込み側仕切弁閉操作、ポンプドレン弁開、ルーズ単管を外す。

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	10	3		
							年	年		
焼却炉給水ユニット	運転状況	振動・騒音	聴診・触診・計測	○						異常のないこと(通常時と比較) 1年毎に計測を行う
	電流値	指示値	目視	○						定格電流以下(定格電流:7.6A)
	圧力計	指示値	目視	○						計器類の零点および指示値を確認する
	モータ	絶縁抵抗値	計測		○			●		1MΩ以上(著しい低下が無いこと)
	軸受(ポンプ・モータ)	振動・騒音・発熱	聴診・触診・計測	○				●		軸受部の発熱・異常音がないこと
	グランドパッキング	漏水・発熱	目視・調整・交換	○				●		グランド部の発熱がないこと 漏水量が多くなる毎に締付調整を行う(整備は交換)
	カップリングボルト	締まり具合	打診		○					緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
	芯出し	芯ずれ・面ぶれ	計測・調整					●		芯ずれ:0.05mm以内 隙間:0.1mm以内
	全般	外面塗装	目視・補修		○			●		発錆・剥離のないこと 発錆のある場合は錆落とし後に塗装する
	各部ボルト	締まり具合	打診		○					緩みがないこと 緩みがあれば増締を行う
	軸スリーブ	摩耗・損傷	交換					●		
	パッキング類	劣化・損傷	交換					●		
	羽根車・ライナーリング	損傷・揺動部隙間	目視・計測・補修					●		羽根車及びライナーリングは損傷程度により交換
	内面状況	接水部	目視					●		腐食の状況により清掃・塗装実施
	空気補給機構	電磁弁・逆止弁動作	目視・計測	○				●		電磁弁・逆止弁が正常に動作している事
	制御盤	動作確認			○			●		自動運転が正常に実施されている事
電磁開閉器	摩耗	目視		○			●		接点が摩耗していない事	

※ポンプ内部確認方法・・・ポンプ吸い込み側仕切弁閉操作、ポンプドレン弁開、ルーズ単管を外す。

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	1年整備 5年整備		
①水処理用二次処理 水オートストレーナ ②初流スカム集水用 オートストレーナ ③終流スカム集水用 オートストレーナ ④No.1,2砂ろ過器用 オートストレーナ	ストレーナ本体	水漏れ・油漏れ・異音	目視	○					水漏れ・油漏れ・異音の有無を確認
	差圧計	差圧値・水漏れ	目視	○					差圧の上昇・水漏れの有無を確認
	操作盤	警報ランプ	目視	○					異常差圧・過負荷ランプ点灯の有無を確認
	電動機	電流値	計測	○					定格電流以下(定格電流:1.1A)
	本体ベアリング	グリース	補給		○				グリスガンを使用しグリスニツプルよりベアリン グへグリースを補給
	グラブドパッキン	リーク水ドレン量	目視	○					グラブド部からのリーク水ドレン量が増加して いないことを確認(増締めまたは交換)
	メディア	目詰まり	目視(視窓蓋開放)		○				目詰まりの有無を確認(高圧洗浄または交 換)
	導圧配管・エア抜き	配管内の詰まり	掃除(小配管)		○				抜水後、配管内に詰まりがないことを分解し確 認(掃除または交換)
	オーバーホール	本体	分解整備				●	●	1年目現地整備または5年目工場整備
※本体内部確認方法...前後の仕切弁閉操作、ドレン弁開、視窓蓋を開放する。									

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	5年整備		
No.1,2砂ろ過器	金体外観	損傷、変形の無い事、水漏れ、空気の漏れがないこと	目視確認	○					
	原水流量	原水流量計	目視確認	○					通常運転18.6m ³ /hを超えていないか。
	洗浄排水流量	原水流量計とろ過水流量計との差から洗浄排水量を確認	目視確認	○					原水量の10%以下であること。
	圧力	ろ過器圧管	目視確認	○					通常時に対し異常はないか。水の噴出はないか。
	洗浄状況	バフ管	目視確認	○					砂が正常に上がっているか。
	空気圧	減圧弁付属圧力計を確認し、0.3MPaである事	目視確認	○					
	空気量	風量計	目視確認	○					30L/min程度(30~60L/minで調整)であるか。
	ろ過水水质	SS濃度が10mg/Lである事	分析による確認	○					
	ろ過砂充填量	槽内にてろ過砂高さを確認	計測	○					不足している場合には補充
	消耗部品							●	

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等		
				日	月	年	1年整備	2年整備				
No.1.2ろ過砂洗浄用 空圧圧縮器	全体	異常音、異常振動の有無を確認	聴診・触診	○								
	圧力計	指示値	目視確認	○							約0.78~0.93MPaの範囲で運転していること	
	電流値	指示値	目視	○							定格電流以下(定格電流:11.5A)	
	Vベルト	ゆるみ、損傷の有無	目視・触診	○							伸びている場合は調整、損傷している場合は交換	
	ろ過器詰め物、フィルタ	汚れ、目詰まりの有無	目視確認	○							清掃しても汚れが落ちない場合は交換	
	ボルト・ナット	ゆるみ、脱落の有無	目視・触診	○								
	全体	部品交換	分解確認				●	●				

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等		
				日	月	年	1年 点検 回数	6年 点検 回数				
水処理用水設備 除湿器	全体	異常音、異常振動の有無を確認	聴診・触診	○								
	蒸発圧力計	指針の状態を確認	目視確認	○							緑の範囲内(0.19~0.38MPa)にあること。また、通常時と差が無い事を確認。	
	オートドレントラップ	ドレンの排出状況	目視確認	○							定期的に排出されているか、またはドレンが溜まったままになっていないか	
		分解清掃	目視確認	○							1週間に1回の清掃、または汚れ状況により、清掃頻度を変更	
		指示値	目視	○							定格電流以下(定格電流:1.4A)	
		吸込みフィルタ	清掃	○							1ヶ月に1回の清掃、または汚れ状況により、清掃頻度を変更	
		電気部品	端子接続部の緩み、配線損傷の有無	目視確認				●				
		全体	部品交換	分解確認				●	●			

※表中の●は参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期				判定	判定基準等
				日	月	年	3 年後 機		
①No.12 次亜注入ポンプ ②No.34 次亜注入ポンプ	異常振動、音の有無	ポンプおよび駆動機	聴診および触診	○					有害な振動や異常音がないこと
	外観	発錆・損傷等	目視	○					錆・損傷の無いこと
	ボルト・ナット	締まり具合	工具使用	○					緩みのないこと
	フランジ等からの漏れ	配管・ポンプ	目視	○					漏れの無いこと
	吐出量	流量計等	目視	○					現場指示流量計で確認(表示範囲0.4~1.5L/min)
	吐出圧力	圧力計等	目視	○					異常な上昇のないこと(0.3MPa以下)
	駆動機	外面温度	温度計	○					外気温+40℃以下
	消耗部品	摩耗・劣化	交換						摩耗・劣化具合の確認

※表中の●は、参考記載。

機器点検リスト

機器名	点検項目	点検箇所・内容	点検方法	点検時期					判定	判定基準等
				日	月	年	1 年 整備			
No.1,2砂ろ過水用 次亜注入ポンプ	運転状況	ポンプ周り配管	目視確認	○			●			注入されているか、析出物による詰りはないか
		異常音、異常振動の有無を確認	聴診・触診	○			●			
	ボルト・ナット	ポンプヘッド取付ボルトにゆるみはないか	工具使用		○		●			
	消耗部品		分解整備				●			

※表中の●は参考記載。

(2)電気設備

電気設備保守要綱

機器名	分類	日常点検
設備一般		
	環境	塵埃の目視点検 湿気の目視点検 室内温度の点検 雨水の混入 小動物の侵入
	盤本体	
	指示計記録計	外観の破損 指示が許容範囲内か 指示のみらつき
	信号灯	点灯の異常が無いか レンズの破損は無いか
	スイッチ類	
	電磁接触器 補助継電器	喰りは無いか
	保護継電器	
	端子台	
	配線用遮断器	
	ヒューズ	
	PT・CT	
	冷却ファン	異常音は無いか 回転は正常か 加熱変色は無いか
	コンデンサ	

機器名	分類	日常点検
高圧配電盤		
	変圧器	温度指示が妥当か 異常音の有無 臭気発生の有無
	指示計	指示値が妥当か
	フィルター	
シーケンサ盤 コントローラ盤		
	シーケンサ コントローラ	
	冷却ファン	異常音は無いか 回転は正常か 加熱変色は無いか
LCD装置		
プリンタ		
カラーハードコピー		
計装		
ワンループ コントローラ		異常ランプの確認
積算計		動作の確認
記録計		
電磁流量計	変換器	
超音波レベル計		計器出力と実水位の対応
圧力式レベル計		

機器名	分類	日常点検
ITV		
カメラ装置	カラーカメラ 電動ズームレンズ 電動雲台 ワイパー	各動作確認操作パネル動作項目と同じことをすること
ITV テレビモニタ	4画面切換 映像切換	動作確認

(別紙 7)

受注者が実施する水質試験

受注者が実施する水質試験項目及び頻度等

受注者が実施する水質試験は、施設管理のための試験として実施する日常試験のうち、下記の項目とする。
 なお、下記以外の水質試験については、発注者等が実施する。

※「下水道維持管理指針—実務編—2014年版(社)日本下水道協会」参照

日常試験			
毎日実施(365日/年)			
定時採水			
項目	採水場所		検体数 (1日当たり)
	1系反応タンク (第4槽目)	2系反応タンク (第4槽目)	
SV(30) (%)	○	○	2 2(各系列1検体)
SVI (mg/ℓ)	○	○	2 -
MLSS (mg/ℓ)	○	○	2 -

反応タンクは、1系・2系それぞれ8池、計16池構成であるが、受注者が実施する水質試験は各系列1検体/毎日を想定している。
 SVについては、2倍等に希釈しての測定を追加する可能性がある。
 MLSSについては、基本的に現場設置される測定計器の値を採用する予定である。

(別紙 8)

水質法定試験結果
(平成 29 年度分)

(別紙 9)

南蒲生浄化センター水処理施設運転管理年報
(平成 29 年度分)

南蒲生浄化センター運轉管理年報 1 / 4

平成29年度

南蒲生浄化センター 水処理施設運轉管理業務委託

項目	気象記録		電力				流入水量		処理水量				汚水揚水量		長尺ダンプ流入量		放流量												
	雨量	気温	電力	電力原単位	当日最大電力	自家発	小水力	太陽光	1系	2系	合計	総流入水量	水処理	濃縮槽	焼却	環境センター	池数	1系	2系	合計	総揚水量	1系	2系	合計	1次処理量	2次処理量	合計		
単位	mm	℃	kWh	kWh/m ³	kWh	kWh	kWh	kWh	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	池	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	
4月	101.0	12.5	2,729,300	0.31	5,909	0	0	0	4,201,030	4,216,510	8,387,140	87,403	265,045	302,398	2,045	4.0	4,111,380	4,822,540	5,082,290	4,216,100	153,480	9,298,390	9,364,970	153,480	9,298,390	9,364,970	153,480	9,298,390	9,364,970
5月	137.0	17.0	2,824,300	0.28	5,849	0	17,832	48,224	4,757,770	5,045,130	9,814,580	102,571	215,183	304,488	2,496	4.0	4,761,310	5,570,100	5,986,650	4,779,130	161,140	10,765,780	10,826,520	161,140	10,765,780	10,826,520	161,140	10,765,780	10,826,520
6月	80.5	18.6	2,572,300	0.27	5,654	0	59,510	76,107	4,206,150	4,551,890	8,702,970	95,812	199,366	344,984	2,808	4.0	4,225,520	5,026,570	4,944,630	4,837,310	63,500	9,781,940	9,750,720	63,500	9,781,940	9,750,720	63,500	9,781,940	9,750,720
7月	182.0	24.6	2,769,200	0.25	6,255	0	61,957	80,608	5,224,880	5,184,060	10,311,320	98,196	228,532	375,256	2,756	4.0	4,939,000	5,973,480	5,918,940	5,454,140	175,260	11,373,080	11,450,640	175,260	11,373,080	11,450,640	175,260	11,373,080	11,450,640
8月	218.5	22.9	2,761,400	0.24	5,752	0	63,929	51,590	6,282,730	6,153,030	12,262,440	95,298	270,841	332,272	2,630	4.0	5,841,840	6,982,230	7,035,270	6,361,710	137,120	13,396,980	13,439,570	137,120	13,396,980	13,439,570	137,120	13,396,980	13,439,570
9月	135.5	22.2	2,581,300	0.24	5,580	0	58,960	71,329	5,190,990	5,053,050	10,148,680	88,849	232,915	319,126	2,600	4.0	4,851,330	5,831,950	5,642,640	5,410,780	72,280	11,053,420	11,037,470	72,280	11,053,420	11,037,470	72,280	11,053,420	11,037,470
10月	340.5	16.0	2,694,700	0.23	5,369	1,000	61,055	44,632	5,918,280	5,806,490	11,754,320	83,021	256,316	316,726	2,737	4.0	5,887,920	6,701,070	6,759,790	5,525,710	285,830	12,285,500	12,468,840	285,830	12,285,500	12,468,840	285,830	12,285,500	12,468,840
11月	7.5	10.8	2,587,900	0.29	4,777	21,400	57,547	45,359	4,435,380	3,527,100	8,051,820	86,028	228,594	410,703	2,954	4.0	3,967,190	4,725,360	4,750,070	4,141,680	0	8,891,750	8,809,680	0	8,891,750	8,809,680	0	8,891,750	8,809,680
12月	7.0	5.4	2,297,000	0.27	4,087	16,600	56,087	44,959	4,013,110	3,494,250	7,687,500	89,834	243,659	287,450	2,296	4.0	3,759,480	4,420,980	4,510,670	3,871,000	0	8,381,670	8,289,360	0	8,381,670	8,289,360	0	8,381,670	8,289,360
1月	50.0	3.1	2,484,700	0.28	5,572	0	37,822	50,473	3,940,800	3,838,140	8,086,660	83,380	119,918	357,713	2,000	4.0	3,918,050	4,734,050	4,734,890	4,081,920	42,520	8,816,810	8,777,800	42,520	8,816,810	8,777,800	42,520	8,816,810	8,777,800
2月	25.5	3.3	2,481,300	0.30	4,919	0	31,011	66,433	3,565,280	3,594,630	7,351,990	77,462	437,937	437,937	2,116	4.0	3,621,550	4,354,770	4,370,230	3,800,640	0	8,170,870	8,094,280	0	8,170,870	8,094,280	0	8,170,870	8,094,280
3月	126.5	8.4	2,778,200	0.27	6,292	15,600	58,441	89,249	4,838,000	4,787,220	9,816,190	111,602	226,652	359,499	2,108	4.0	4,789,980	5,671,170	5,797,560	4,743,930	166,810	10,541,480	10,604,410	166,810	10,541,480	10,604,410	166,810	10,541,480	10,604,410
合計	1,411.5		31,551,600			54,600	564,221	560,063	56,564,400	55,351,500	112,375,610	1,099,476	2,487,021	4,118,552	29,546	-	54,374,470	64,814,270	119,188,740	57,224,050	1,257,940	122,757,680	122,944,260	1,257,940	122,757,680	122,944,260	1,257,940	122,757,680	122,944,260
最大	340.5	24.6	2,824,300	0.31	6,292	21,400	63,929	80,608	6,282,730	6,153,030	12,262,440	111,602	270,841	437,937	2,954	4.0	5,841,840	6,982,230	7,035,270	6,361,710	285,830	13,396,980	13,439,570	285,830	13,396,980	13,439,570	285,830	13,396,980	13,439,570
最小	7.0	3.1	2,297,000	0.21	4,087	0	0	0	3,565,280	3,494,250	7,351,990	77,462	119,918	257,450	2,000	4.0	3,621,550	4,354,770	4,370,230	3,800,640	0	8,170,870	8,094,280	0	8,170,870	8,094,280	0	8,170,870	8,094,280
平均	117.6	13.7	2,630,133	0.26	5,501	4,550	47,018	55,005	4,713,700	4,612,625	9,364,634	91,622	226,092	343,212	2,462	4.0	4,531,205	5,401,189	5,932,395	4,768,670	104,828	10,229,806	10,245,355	104,828	10,229,806	10,245,355	104,828	10,229,806	10,245,355

記事欄

南蒲生浄化センター一運転管理年報 2/4

平成29年度

南蒲生浄化センター 水処理施設運転管理業務委託

項目	最初沈降池										反応タンク																	
	1系					2系					1系					2系												
	池数	滞留時間	水面積	池数	滞留時間	水面積	池数	滞留時間	池数	滞留時間	送風量	送風倍率	SRT	A-SRT	BOD-SS負荷	COD-SS負荷	HRT	汚泥日令	池数	滞留時間	送風量	送風倍率	SRT	A-SRT	BOD-SS負荷	COD-SS負荷	HRT	汚泥日令
単位	池	h	m ² /m ² 日	池	h	m ² /m ² 日	池	h	m ³	倍	日	日	kg/kg日	kg/kg日	h	日	m ³	倍	日	日	m ³	倍	日	日	kg/kg日	kg/kg日	h	日
4月	4.0	2.3	31.9	3.0	2.3	31.9	8.0	7.4	8,842,396	1.8	5.5	4.1	0.204	0.116	7.4	11.8	7.1	7.6	7.1	7.0	10,478,570	2.5	5.3	4.0	0.176	0.117	7.6	12.1
5月	4.0	2.1	34.8	3.2	2.2	34.8	8.0	6.7	10,165,050	1.8	8.1	6.1	0.137	0.107	6.7	16.7	7.0	7.0	7.0	7.0	10,597,936	2.3	6.1	4.5	0.142	0.129	7.0	15.9
6月	4.0	2.2	32.6	3.2	2.2	32.6	8.0	7.4	8,376,028	1.6	7.2	5.4	0.208	0.122	7.4	15.8	7.0	6.5	6.5	6.5	9,836,614	2.0	7.3	5.5	0.164	0.150	6.5	18.1
7月	4.0	2.0	37.2	3.2	2.0	37.2	8.0	6.6	8,681,192	1.5	7.7	5.8	0.173	0.140	6.6	12.6	7.0	6.0	6.0	6.0	8,874,113	1.6	7.0	5.2	0.159	0.164	6.0	14.2
8月	4.0	1.8	39.9	4.0	1.8	39.9	8.0	5.5	7,082,718	1.0	7.6	5.6	0.152	0.131	5.5	13.1	7.0	5.1	5.1	5.1	7,402,070	1.1	6.6	4.9	0.154	0.150	5.1	13.0
9月	4.0	2.1	33.9	4.0	2.2	33.9	8.0	6.6	7,111,467	1.2	6.7	4.9	0.138	0.116	6.6	18.2	7.0	5.8	5.8	5.8	8,285,435	1.5	6.4	4.8	0.162	0.150	5.8	15.5
10月	4.0	2.1	37.6	4.0	2.1	37.6	8.0	6.2	7,109,957	1.2	6.3	4.7	0.145	0.121	6.2	15.0	7.0	6.2	6.2	6.2	8,141,964	1.5	6.3	4.7	0.157	0.155	6.2	14.9
11月	4.0	2.6	26.7	4.0	2.7	26.7	8.0	7.5	8,646,507	1.7	5.5	4.1	0.169	0.110	7.5	18.6	7.0	7.5	7.5	7.5	9,673,143	2.3	5.2	3.9	0.202	0.172	7.5	16.8
12月	4.0	2.8	24.6	4.0	2.9	24.6	8.0	8.1	11,230,829	2.4	4.7	3.5	0.196	0.113	8.1	17.3	7.0	8.3	8.3	8.3	11,546,359	2.9	6.1	4.5	0.187	0.119	8.3	19.4
1月	4.0	2.7	25.9	4.0	2.8	25.9	8.0	7.9	10,026,825	2.1	5.2	3.8	0.188	0.108	7.9	18.6	7.0	8.0	8.0	8.0	11,124,161	2.7	5.6	4.1	0.190	0.121	8.0	18.1
2月	4.0	2.7	26.1	4.0	2.7	26.1	8.0	7.6	9,666,715	2.1	6.3	4.7	0.194	0.102	7.6	20.4	7.0	7.7	7.7	7.7	10,438,435	2.7	5.5	4.0	0.244	0.136	7.7	16.3
3月	4.0	2.3	31.5	4.0	2.4	31.5	8.0	6.7	9,543,022	1.7	5.0	3.7	0.245	0.137	6.7	12.8	7.0	7.0	7.0	7.0	9,282,943	2.0	5.5	4.1	0.252	0.139	7.0	13.1
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	106,482,507	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	115,661,742	-	-	-	-	-	-	-
最大	4.0	2.8	39.9	4.0	2.9	39.9	8.0	8.1	11,230,829	2.4	8.1	6.1	0.245	0.140	8.1	20.4	7.1	8.3	8.3	8.3	11,546,359	2.9	7.3	5.5	0.252	0.172	8.3	19.4
最小	4.0	1.8	24.6	3.0	1.8	24.6	8.0	5.5	7,082,718	1.0	4.7	3.5	0.137	0.102	5.5	11.8	7.0	5.1	5.1	5.1	7,402,070	1.1	5.2	3.9	0.142	0.117	5.1	12.1
平均	4.0	2.3	31.8	3.7	2.3	31.8	8.0	7.0	8,873,542	1.6	6.3	4.7	0.179	0.118	7.0	15.9	7.0	6.8	6.8	6.8	9,638,478	2.0	6.0	4.5	0.182	0.141	6.8	15.6

記事欄

南蒲生浄化センター運轉管理年報 3/4

平成29年度

南蒲生浄化センター 水処理施設運轉管理業務委託

項目	最終沈殿池										汚泥発生 (最終沈殿池)										消菌設備				
	1系					2系					1系					2系					使用量	平均値			
	池数	滞留時間	水面積	返送汚泥量	汚泥濃度	池数	滞留時間	水面積	返送汚泥量	汚泥濃度	汚泥濃度	固形物量	生汚泥引抜き量	汚泥濃度	固形物量	合計値	平均値	固形物量	合計値	平均値			固形物量	合計値	平均値
4月	8.0	4.4	16.8	2,527,020	5,179	49.6	7.1	4.5	15.7	2,098,050	5,102	49.7	99,008	0.87	869,816	83,211	0.98	827,343	79,655	5,179	414,454	71,788	365,270	55,187	0.65
5月	8.0	4.0	19.2	2,490,770	6,636	42.1	7.0	4.1	17.5	1,995,370	6,718	42.1	97,466	0.91	889,410	84,357	1.00	860,896	49,781	6,636	329,532	53,487	355,655	63,534	0.66
6月	8.0	4.4	16.4	1,919,230	4,906	38.7	7.0	3.8	18.3	1,915,160	6,896	39.5	87,434	0.84	742,337	79,013	1.12	896,995	56,836	4,906	277,791	45,276	308,892	60,362	0.68
7月	8.0	3.9	19.0	2,356,790	3,842	39.7	7.0	3.6	20.0	2,170,370	5,398	39.7	99,762	0.74	749,427	90,948	0.97	890,621	66,609	3,842	256,120	55,759	300,780	79,472	0.76
8月	8.0	3.3	22.6	2,803,530	3,968	39.7	7.0	3.0	23.4	2,532,300	5,035	39.7	114,513	0.63	741,125	105,719	0.68	720,621	68,638	3,968	272,182	59,767	300,958	79,236	0.65
9月	8.0	3.9	18.7	2,247,030	4,989	39.7	7.0	3.5	20.5	2,152,600	5,226	39.7	95,796	0.41	408,908	89,100	0.49	448,037	65,743	4,989	327,973	59,414	309,896	67,038	0.67
10月	8.0	3.7	21.7	2,692,780	5,110	39.7	7.0	3.7	20.3	2,200,470	4,871	39.7	105,456	0.41	453,950	97,890	0.49	493,355	68,653	5,110	351,088	60,819	296,269	70,404	0.64
11月	8.0	4.5	15.7	1,891,170	5,705	39.7	7.0	4.5	15.7	1,650,050	5,660	39.7	85,901	0.74	639,823	75,398	1.21	834,790	78,518	5,705	448,246	62,146	351,998	56,977	0.71
12月	8.0	4.9	14.4	1,795,860	6,095	39.7	7.0	5.0	14.2	1,540,710	6,271	39.7	81,929	1.11	906,123	80,705	1.44	1,064,926	86,110	6,095	528,584	58,304	366,688	62,206	0.82
1月	8.0	4.7	15.2	1,878,660	6,942	39.6	7.0	4.8	15.0	1,630,120	6,314	39.8	85,065	0.82	696,018	89,725	0.89	796,947	67,834	6,942	465,730	54,089	341,911	67,752	0.85
2月	8.0	4.5	15.5	1,813,290	6,456	41.3	7.0	4.6	15.4	1,661,680	5,045	43.7	83,661	0.69	577,977	88,108	0.88	779,428	52,915	6,456	339,039	52,177	260,624	59,556	0.80
3月	8.0	4.0	18.6	3,378,360	4,603	57.9	7.0	4.2	17.4	2,768,530	3,571	58.0	86,887	1.23	1,037,923	85,335	1.30	1,034,685	88,293	4,603	405,664	81,324	288,350	75,793	0.81
合計	-	-	-	27,794,490	-	-	-	-	-	24,315,430	-	-	1,122,878	-	8,712,837	1,049,509	-	9,548,644	829,785	-	4,414,402	714,360	3,847,291	797,619	-
最大	8.0	4.9	22.6	3,378,360	6,942.0	57.9	7.1	5.0	23.4	2,768,530	6,896	58.0	114,513	1.23	1,037,923	105,719	1.44	1,064,926	88,293	6,942	526,584	81,324	366,688	79,472	0.85
最小	8.0	3.3	14.4	1,795,860	3,842.0	38.7	7.0	3.0	14.2	1,540,710	3,571	39.5	81,929	0.41	408,908	75,398	0.49	448,037	49,781	3,842	256,120	45,276	260,624	55,187	0.64
平均	8.0	4.1	17.8	2,316,207	5,369.0	42.2	7.0	4.1	17.7	2,026,285	5,508	42.5	93,573	0.78	726,069	87,459	0.85	804,053	69,148	5,369	367,866	59,530	320,607	66,468	0.72

記事欄

南蒲生浄化センター運転管理年報 4 / 4

平成29年度

南蒲生浄化センター 水処理施設運転管理業務委託

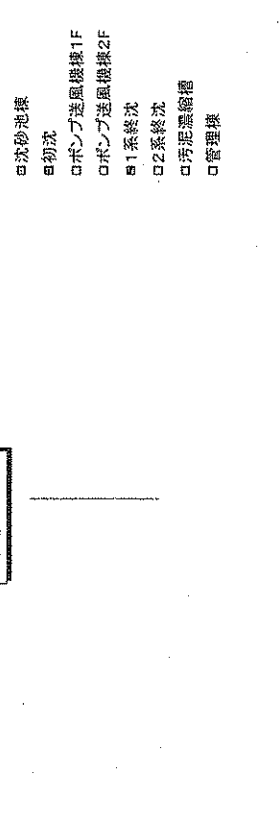
項目	除去率				ユーティリティ				搬入				搬出				砂ろ過原水量				ろ過水量				雑用水 給水量								
	S 除去率		COD 除去率		BOD 除去率		水道使用量 100mm	水道使用量 20mm	ガス 使用量	次亜 入荷量	用水 次亜 使用量	自家発 電油 使用量	沈砂 受入量	沈砂 抽出量	汚泥 抽出量	汚泥 抽出量	沈砂池 設備 給水量	No.1	No.2	合計値	No.1	No.2	合計値	No.1	No.2	合計値	No.1	No.2	合計値	合計値	合計値		
単位							m ³	m ³	m ³	m ³	L	L	t	t	t	t	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³		
4月	91.3	92.7	76.4	77.1	87.8	80.328	0.001	0	49.9	7	23	5	11.93	29	273.75	71.48	7.26	86,785	317.8	299.9	617.7	316.6	281.5	598.1	542.5								
5月	88.0	91.0	74.0	76.9	90.2	60.177	1.565	0	61.6	25	16	4	11.14	31	294.89	53.31	6.91	100,316	1,154.9	1,099.9	2,254.8	1,143.4	1,131.0	2,274.4	2,053.2								
6月	85.0	88.4	75.4	81.5	91.0	60.156	1.113	0	67.4	19	40	7	18.62	30	281.97	59.48	20.36	94,566	596.4	649.8	1,246.2	588.0	680.7	1,268.7	1,125.7								
7月	89.3	92.1	74.7	79.7	84.2	60.623	0.755	0	67.8	8	13	4	10.97	29	275.78	54.84	4.27	97,429	401.8	364.8	766.6	401.0	384.1	785.1	709.9								
8月	89.6	93.3	76.2	79.2	85.9	59.988	2.486	0	79.2	11	9	6	13.01	33	312.97	84.15	3.21	94,255	544.3	499.1	1,043.4	544.6	526.0	1,070.6	971.5								
9月	86.6	91.9	78.5	82.0	87.0	314.833	2.277	0	67.6	10	12	11	26.73	26	246.80	43.41	3.51	88,052	415.0	382.2	797.2	416.8	405.0	821.8	731.9								
10月	85.4	89.8	74.1	78.8	91.0	59.661	1.804	0	59.3	7	111	6	15.24	31	292.91	33.36	4.69	82,365	330.4	326.0	656.4	328.7	330.9	659.6	604.0								
11月	86.7	91.3	78.8	83.2	90.8	143.234	1.692	0	70.4	44	6,152	9	21.28	32	302.74	29.11	4.75	81,969	2,025.3	2,033.5	4,058.8	2,008.4	2,133.1	4,141.5	3,692.3								
12月	83.1	82.1	75.2	77.3	93.1	0.000	0.829	0	58.7	93	4,649	5	23.73	25	235.18	10.90	4.99	82,135	3,717.9	3,980.8	7,698.7	3,694.8	4,284.6	7,979.4	7,128.3								
1月	82.4	80.7	73.6	74.4	90.2	60.692	0.195	0	67.8	24	13	4	8.55	32	304.18	7.62	4.88	81,435	992.0	953.2	1,945.2	999.1	993.2	1,992.3	1,746.4								
2月	76.9	75.6	71.6	72.1	88.9	0.000	1.925	0	64.8	13	46	0	0.00	28	269.33	11.31	4.95	76,476	509.2	497.1	1,006.3	503.1	514.4	1,017.5	916.9								
3月	77.1	77.5	71.2	70.9	91.3	335.092	0.523	0	76.4	64	4,407	8	21.51	29	276.14	57.89	8.93	103,877	3,724.6	4,000.0	7,724.6	3,670.9	4,347.2	8,018.1	7,027.0								
合計						1,215.285	15.165	0	790.9	325	15,491	69	182.71	355	3,366.64	516.96	78.61	1,069,660	14,729.6	15,086.3	29,815.9	14,615.4	16,011.7	30,627.1	27,321.6								
最大	91.3	93.3	78.8	83.2	93.1	335.092	2.486	0	79.2	93	6,152	11	26.73	33	312.97	60	382.86	84.15	20.36	103,877	3,724.6	4,000.0	7,724.6	3,694.8	4,347.2	8,018.1	7,128.3						
最小	76.9	75.6	71.2	70.9	84.2	0.000	0.001	0	49.9	7	9	0	0	25	235	8	7.62	76,476	317.8	299.9	617.7	316.6	281.5	598.1	542.5								
平均	85.2	87.2	74.9	77.7	89.2	101.273	1.263	0	65.9	27	1,290	5.7	15.22	29.5	280.55	16.6	108.62	89,138	1,227.4	1,257.1	2,484.6	1,217.9	1,334.3	2,552.2	2,276.8								

記事欄

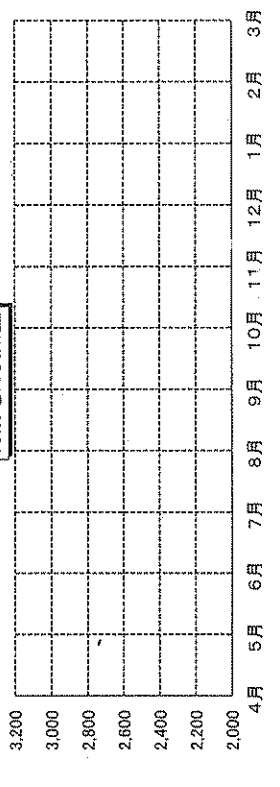
平成29年度電気使用量(年報用)

	(単位:千kWh)												割合	前年比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
沈砂池棟	130.8	132.6	123.6	130.3	131.7	122.2	126.9	126.4	132.8	135.4	125.1	142.6	1,560.4	99.21%
初沈	585.3	608.9	498.2	501.3	424.3	436.0	439.7	520.2	641.9	586.4	545.4	510.0	6,297.6	95.69%
ポンプ送風機棟1F														
ポンプ送風機棟2F														
1系終沈	87.2	81.7	65.7	75.8	88.4	75.6	88.1	73.1	75.8	76.3	66.6	97.8	952.1	105.64%
2系濃縮	129.3	105.2	56.7	61.5	69.4	61.4	65.2	64.8	59.9	82.0	87.5	84.3	927.7	62.67%
汚泥濃縮槽	24.4	23.5	21.8	22.2	22.3	21.2	21.1	20.6	22.8	24.0	23.1	23.4	270.1	94.63%
管理棟	24.1	19.3	18.1	24.5	23.6	21.2	22.0	26.4	33.5	38.6	35.1	32.0	318.4	99.02%
浄化センター														
総電力使用量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	21.4	16.6	0.0	0.0	15.6	54.6	275.76%
発電電量														
平均電力(kW)														
最大電力(kW)														
電気料金(円)														106.42%
太陽光発電電量	0.0	48.2	77.9	80.6	51.6	71.3	44.6	46.1	45.3	50.5	66.4	83.3	665.9	638.86%
小水力発電電量	0.0	17.8	60.0	62.0	63.9	59.0	61.1	57.6	56.1	37.9	31.0	58.4	564.8	1658.68%
下水処理量(km ³)	93	108	98	114	134	110	124	88	82	87	81	105	1,225	109.67%
一次処理量(km ³)	2	2	1	2	1	1	3	0	0	0	0	2	13	76.33%

当月使用比率

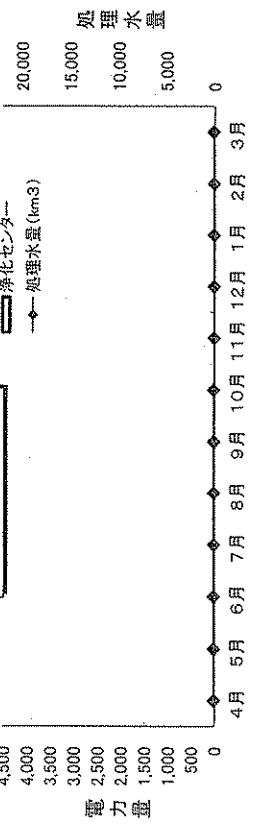


月別電力使用量

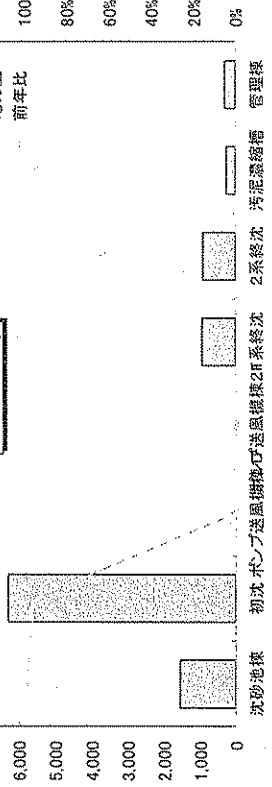


記事欄

処理水量と電力使用量



電力量の推移



(別紙 10)

水処理施設運転日誌様式

整備工事

運転操作・機器切替

保守点検・清掃

水質試験・計装機器点検

故障・不具合

備考

(別紙 11)

中央監視記録票様式

南蒲生浄化センター中央監視記録

平成 年 月 日 ()

項目	単位	特高電流 (S相)		特高電力 Kw	浄水井水位 TPm	流入異水位		流入水量		総流入水量 ×10 ³ m ³ /h	次			砂			池																							
		A	0			1系 TPm	2系 TPm	1系 ×10 ³ m ³ /h	2系 ×10 ³ m ³ /h		流入水位	流出水位	1-1 水温 °C	1-2 水温 °C	1-2 pH	流入水位	流出水位	2-1 水温 °C	2-2 水温 °C	2-2 pH	1系 SS No.1-1	1系 SS No.1-2	2系 SS No.2-1	2系 SS No.2-2																
																									2系 TPm	2系 ×10 ³ m ³ /h	2系 TPm	2系 ×10 ³ m ³ /h	2系 TPm	2系 ×10 ³ m ³ /h	2系 TPm	2系 ×10 ³ m ³ /h	2系 TPm	2系 ×10 ³ m ³ /h	2系 TPm	2系 ×10 ³ m ³ /h	2系 TPm	2系 ×10 ³ m ³ /h	2系 TPm	2系 ×10 ³ m ³ /h
上限	58	0	0	7000	2.30	2.70	2.70	3500	3500	7000	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50	28.0	28.0	8.5	2.50	2.50	28.0	28.0	9.5	2.50	2.50	100	100	100	100											
下限	0	0	0	0	0.00	0.60	0.60	0	0	0	-0.10	-0.10	-0.10	-0.10	-0.10	10.0	10.0	6.0	-0.10	-0.10	10.0	10.0	6.0	-0.10	-0.10	0	0	0	0											
1:00																																								
2:00																																								
3:00																																								
4:00																																								
5:00																																								
6:00																																								
7:00																																								
8:00																																								
9:00																																								
10:00																																								
11:00																																								
12:00																																								
13:00																																								
14:00																																								
15:00																																								
16:00																																								
17:00																																								
18:00																																								
19:00																																								
20:00																																								
21:00																																								
22:00																																								
23:00																																								
24:00																																								
合計				0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
最小	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

項目	ホッパー重量			送風機			ポンプ水位	主循環装置		汚水揚水機		総揚水量 ×10m ³ /h	潤圧水揚水機 TFm	送風重量 m ³ /min	分配機			
	No.1		No.2	1系		2系		No.3		No.4					1系		2系	
	kg	kg	kg	kg	kg	kg		kg	kg	kg	kg				kg	kg	kg	kg
単位	kg		kg	kg		kg	kg	%		%		×10m ³ /h	TFm	m ³ /min	kg/L	kg/L	kg/L	kg/L
上限	2.5	2.5	5.0	100	100	100	0.00	100.0	100.0	5000	5000	10000	13.50	800	70	80	70	80
下限	0	0	0	0	0	0	-1.20	0.0	0.0	100	100	320	3.00	0	0	0	0	0
1:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
2:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
3:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
4:00	降雨時 6時記入↑		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
5:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
6:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
7:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
8:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
9:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
10:00	降雨時 12時記入↑		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
11:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
12:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
13:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
14:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
15:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
16:00	降雨時 18時記入↑		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
17:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
18:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
19:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
20:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
21:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
22:00	降雨時 24時記入↑		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
23:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
24:00	/		/	/		/	/	/		/		/	/	/	/	/	/	/
合計	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	0.0	-	-	-	-
最大	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.00	0	0.0	0	0	0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0	0.0	0.00	0	0.0	0	0	0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

項目	I 系 最 終 沈 殿 池										2系反応タンク																																									
	送 送 汚 泥 濃 度					O R P					M L S S					P H					水 温					D O					D O																					
単位	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	2-1-A	2-3-A	2-5-A	2-7-A	2-1-B	2-3-B	2-5-B	2-7-B	2-1-B	2-3-B	2-5-B	2-7-B	2-1-B	2-3-B	2-5-B	2-7-B	2-1-B	2-3-B	2-5-B	2-7-B	2-1-B	2-3-B	2-5-B	2-7-B	2-1-B	2-3-B	2-5-B	2-7-B	2-1-B	2-3-B	2-5-B	2-7-B												
mg/L									mV																	°C									mg/L									mg/L								
上限										700																30									10									10								
下限										-700																0									0									0								
1:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
2:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
3:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
4:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
5:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
6:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
7:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
8:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
9:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
10:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
11:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
12:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
13:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
14:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
15:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
16:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
17:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
18:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
19:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
20:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
21:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
22:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
23:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
24:00	トレンド確認										トレンド確認										トレンド確認																															
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
最大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				

【備考】

項目	流出MLSS								最終沈殿池				放流水				次 血 注 入	次亜塩素酸ナトリウム			小 水 力	太陽光	I T V 確認		
	2-1-D	2-2-D	2-3-D	2-4-D	2-5-D	2-6-D	2-7-D	2-8-D	SS	pH	濁度	水温	COD	残留塩素	No.1 液位	No.2 液位		No.3 液位							
	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L											mg/L	mg/L				mg/L	mg/L
単位																			L/h	m ³	m ³	kw			
上限					3500				10	8.6	8	23.5	60	1.00	14.0	110									
下限					500				0	5.8	0	0	5	0.10	-1.0	30									
1:00																									
2:00																									
3:00																									
4:00																									
5:00																									
6:00																									
7:00																									
8:00																									
9:00																									
10:00																									
11:00																									
12:00																									
13:00																									
14:00																									
15:00																									
16:00																									
17:00																									
18:00																									
19:00																									
20:00																									
21:00																									
22:00																									
23:00																									
24:00																									
合計																									
最大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【備考】

平成 年 月 日 () 流入水量異常増加時運転状況 降雨による3W制御時記入(毎正時記入)

時間	時間雨量 (mm/h)	着水井水位 (TP.m)	新水処理総流入流量 (×10m ³ /h)	簡易処理量(一次処理量) (×10m ³ /h)	1系ステップ流入可動堰高 (1 -) (TP.m)	2系ステップ流入可動堰高 (2 -) (TP.m)	ポンプ井水位 (TP.m)	主ポンプ流量 (×10m ³ /h)	備考
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									

注 ・ポンプ井運転水位は +0.00m ~ -1.20 TP.m で管理する。 ・時間雨量は後で気象庁のデータを入力すること！
 ・汚水ポンプ送水流量は 22,000m³/h を目標とする。
 ・六丁目ポンプ場送水ポンプ3台運転時より、細目自動除塵機「手動」にて連続運転。(六丁目送水ポンプ2台運転で除塵機 異常運転とする)
 ・3W制御開始時は、初流主流入ゲート№.1-2・№.2-2の開度は100%とする
 ・ステップ流入可動堰高は0で指定したステップ流入可動堰高とする。

降雨対応チェックリスト

年 月 日

項目	時間
流入量増加 \dots m^3/h 以上確認	
1系3W運転 開始 (終了時ステップ可動堰全閉確認)	
2系3W運転 開始 (終了時ステップ可動堰全閉確認)	
しき系手動連続運転(雨天用タイマー運転)	
場内沈砂系雨天タイマー運転	
次亜注入率設定変更(高級)	
次亜注入率設定変更(簡易)	
揚水量 \dots m^3/h 確認 一次処理水放流開始	
非常時(工事対応等)対応	
大雨または洪水警報 正門開錠	